

# 令和5年度 第12回 辻堂まちづくり会議 次第

日 時：2024年3月28日（木）13:30～15:00

会 場：辻堂市民センター ホール

## 1. 前回会議議事録の確認について

## 2. 議 題

### (1) 部会等報告について

ア くらし安心・安全部会 (3/14)

イ 辻堂交流部会 (3/14)

ウ 福祉部会 (3/21)

エ 広報委員会 (3/21)

### (2) 辻堂地区郷土づくり推進会議運営要領の改正について

### (3) 今期の活動の振り返り

## 3. その他

## 4. 今後の予定

●辻堂朝市 4月11日、25日（木）3人

○第1回辻堂まちづくり会議 4月25日（木）13時30分から

第1部 委嘱式及び委員と市長との意見交換

第2部 全体会議

以 上

令和5年度 第11回 辻堂まちづくり会議 議事録

日時	2024年2月22日(木) 13:30 ~ 15:25		
場所	辻堂市民センター ホール		
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 尾崎会長 <input checked="" type="checkbox"/> 秋山副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 齋間委員 <input type="checkbox"/> 橋本委員 <input checked="" type="checkbox"/> 鷹野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 片桐委員 <input checked="" type="checkbox"/> 高野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 吉田(秀)委員 <input checked="" type="checkbox"/> 堀川委員 <input checked="" type="checkbox"/> 芳山委員	<input checked="" type="checkbox"/> 小川副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 赤塚委員 <input checked="" type="checkbox"/> 和田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 近藤委員 <input checked="" type="checkbox"/> 大橋委員 <input checked="" type="checkbox"/> 松尾委員 <input checked="" type="checkbox"/> 村上委員 <input checked="" type="checkbox"/> 久保田委員 <input type="checkbox"/> 千葉委員	<input checked="" type="checkbox"/> 伊藤副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 山田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 吉田(紀)委員 <input checked="" type="checkbox"/> 秋葉委員 <input checked="" type="checkbox"/> 中野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 黒川委員 <input checked="" type="checkbox"/> 山下委員 <input checked="" type="checkbox"/> 池本委員 <input checked="" type="checkbox"/> 鶴田委員
事務局	<input checked="" type="checkbox"/> 横田センター長 <input type="checkbox"/> 片山	<input checked="" type="checkbox"/> 中丸主幹 <input checked="" type="checkbox"/> 古河	<input checked="" type="checkbox"/> 松本 <input checked="" type="checkbox"/> 狩野尾 <input type="checkbox"/> 新倉 <input type="checkbox"/> 宮木
議題等	1 前回会議議事録の確認について 2 議題 (1) 部会等報告について ア 暮らし安心・安全部会 (2/8) イ 辻堂交流部会 (2/8) ウ 福祉部会 (2/15) エ 広報委員会 (2/15) (2) 全体集会の振り返り (3) 辻堂まちづくり会議だよりについて (4) 公募委員(再任)の推薦について 3 その他 4 今後の予定		
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・藤沢市都市マスタープラン 部会で説明した内容とこれまでいただいた意見(人口、土地利用)</li> <li>・辻堂地区 地区別構想意見シート</li> <li>・藤沢厚木線(辻堂工区)の整備について</li> <li>・令和5年度委員名簿</li> <li>・令和5年度第10回辻堂まちづくり会議議事録</li> <li>・令和5年度第11回暮らし安心・安全部会議事録</li> <li>・昭和通りの拡幅整備についてのご意見をお聞かせ下さい。</li> <li>・令和5年度第11回辻堂交流部会議事録</li> <li>・3年生「八松ウォークラリー」について</li> <li>・ぶらり辻堂 企画書</li> <li>・令和5年度第11回福祉部会議事録</li> <li>・ヤングケアラーについて考える研修会</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度第11回広報委員会議事録</li> <li>・令和5年度 辻堂まちづくり会議全体集会 実施結果</li> <li>・令和5年度 辻堂まちづくり会議全体集会 発表内容のまとめ</li> <li>・令和5年度 辻堂まちづくり会議全体集会 アンケート結果</li> <li>・まちづくり会議だよりレイアウト案</li> <li>・辻堂地区郷土づくり推進会議運営要領（一部抜粋）</li> <li>・令和6年度 辻堂地区郷土づくり推進会議選考委員会、公募委員募集及び選考に関する要領（一部抜粋）</li> <li>・令和6年度 辻堂地区郷土づくり推進会議委員 再任公募委員名簿</li> </ul>
傍聴者	0人

【議事録】

（進行 中丸主幹）

○開会前確認

- （1）会議の成立に関する報告
- （2）資料の確認
- （3）会議進行の確認
- （4）傍聴の取扱いについて

第1部

1 藤沢市都市マスタープランについて（市都市計画課）

市都市計画課（吉野、屋敷）から、資料のとおり説明があった。

【意見等】

- ・辻堂地区 地区別構想意見シートについては、3/16までに辻堂市民センター事務局へ提出をお願いしたい。（都市計画課）
- ・先日実施した全体集会のテーマ3つ（道が狭い、渋滞、自転車・歩行者のマナー）でディスカッションした情報をお渡しするので、是非参考にさせていただきたい。（小川副会長）
- ・横浜湘南道路やインターチェンジが完成していく中で、交通量をどう考えているか。都市マスタープランの中でそれらの完成を見込んでいるのか、それとも現状だけをみてどうこうと意見を言えばよいのか。（吉田秀委員）
- ・辻堂停車場辻堂線については、沿線にアンケートを取ろうと思っている。そうした意見反古にしないようにしてほしい。津波や火災などの防災についても考慮した計画にして、20年後の世代に課題を残さないようにしてもらいたい。（小川副会長）  
→了解した。（都市計画課）
- ・辻堂の人口は増加傾向にあるが、20年後に住みやすいまちにしてほしい。（吉田紀委員）
- ・自分の自治会周辺は、賃貸の入居者が増えており、ファミリーの定住者が増えているわけではない。500人無作為とのことだが、定住者でない住人を含める想定なのかを教えてください。定住者でない人口を含めるのは、正しい結果を出すのにふさわしくないのでは。（山田委員）  
→アンケートは18歳以上と5年以上居住の条件しかないので、その点は考慮していない。既に始めてしまっているアンケートなので、今後のアンケート時についてはその点も考慮していきたい。（都市計画課）
- ・都市計画課から復興まちづくりイメージトレーニングへの参加のお願いがあった。  
開催日 3月16日（土）9時30分～12時30分  
場所 辻堂市民センター 2階 第2談話室  
対象 辻堂まちづくり会議委員

## 2 藤沢厚木線（辻堂工区）の整備について（市道路河川総務課）

市道路河川総務課（佐藤課長、古谷、吉川）から、資料のとおり説明があった。

### 【意見等】

- ・意見交換会について、過去の記録が見当たらないとある。海浜公園通りが出来た当初の経緯やその際の約束などもわからないと言われてしまうと、非常に困る。過去があって今があるわけなので、整理と記録をきちんとしてほしい。（山田委員）  
→皆様とお話しした記録はきちんと残していく。（道路河川総務課）
- ・都市計画決定の取り消しはどういった手続きになるか、そもそも可能か。（小川副会長）  
→市内において、一部の道路について見直しているケースもある。県道の場合、県の同意をいただいて市の計画を変えていくような流れである。（道路河川総務課）  
→都市計画文書の保存年限は何年か。年限が切れているから不明なのか。（小川副会長）  
→永年保存している。当初藤沢厚木線のランクアップを目指していたが、住民へのアクションしているかなどの記録はなかった。（道路河川総務課）
- ・道の名前について、辻堂停車場辻堂線などの行政名称ではなく、地域がつける愛着のある名称を標示することは可能なのか。（吉田紀委員）  
→都市計画に定めるものはルールがあるため、正式名称にすることはできない。地域の工夫で付けた名称を広めてもらうことは問題ない。標示は市ではなく地域で行うことになる。（道路河川総務課）
- ・都市計画課資料の地図の中で、ソニー付近の計画についてはどうなっているか（吉田秀委員）  
→企業の立退・転出の問題があるため、都市計画決定はされていない。（道路河川総務課）  
→それを言うと片瀬辻堂線の道路は実現不可能である。我々まちづくり会議でも南北線に関する検討を行ったが、それは何も生かされないのか。（吉田秀委員）  
→都市計画決定がされていない道路でも、未着手の道路をどの順番で整備していくかという「市の道路整備プログラム」というものがあり、そこで順位4位には入っている。市では整備が必要な道路であるとの認識はきちんと持っており、全く無駄ではない。（道路河川総務課）

## 第2部

### 1 前回会議議事録の確認について

資料のとおり

### 2 議題

#### (1) 部会等報告について

##### ア くらし安心・安全部会

山田部会長から資料のとおり説明があった。

### 【意見等】

- ・昭和通りのアンケートの通知文や記入用紙について、ご意見があれば2/27までに事務局まで。（山田部会長）
- ・アンケートでおかしい場所がある。P12の3 アンケートの選択肢「敷地を所有もしくは借地している」が2つある。建物の構造「木造、鉄骨造ですか」ではなく、「木造および鉄骨造ですか」等に変えて聞いた方が良い。（松尾委員）
- ・どのように配るのか。（久保田委員）  
→自治会・町内会長に依頼して、土地家屋所有者をある程度特定して配布していく。（小川副会長）

- ・出すことが決定であれば、会長名で出してよいと思う。(伊藤副会長)  
→会長名に変えさせていただく。(小川副会長)
- ・最後に住所氏名を聞いているが、アンケートがどのように使われていくか、個人情報の取り扱いについて、などの記載があるとよい。(尾崎会長)

#### イ 交流部会

秋山部会長から資料のとおり説明があった。

- ・以下の事業の手伝いや参加をお願いしたい。(秋山部会長)
- 4/4 9:30 ストリートギャラリーフラッグ掲出  
→出席：近藤委員
- 3/5 9:00 八松小ウォークラリー  
→出席：松尾委員、池本委員、鷹野委員
- 3/10、3/17、3/24のいずれか 9:30～「ぶらり辻堂」の試行(後日、3/17に決定)  
→出席：秋葉委員、近藤委員

#### 【意見等】

- ・八松小ウォークラリー9:05 会議室は何のために行くのか。(松尾委員)  
→顔合わせを行うためである。(秋山部会長)

#### ウ 福祉部会

池本部会長から資料のとおり説明があった。

#### 【意見等】

- ・3/3 ヤングケアラーについて考える研修会を実施する。参加希望者を確認したい。  
→出席：久保田委員
- ・交通空白地域の社会的弱者の問題は、部会を越えて、全体会でも色々と議論すべき内容だと思う。(秋山副会長)
- ・「それぞれの事業に福祉の要素を取り込む」とはどういうことか。(山田部会長)  
→障がいのある方の支援、及び障がい者となる前に助けるのも福祉だと考える。車止めに躓いて大腿骨骨折してしまった方がおり、そういうケースにおける事前対策を考えていく。(池本部会長)  
→各部会の事業について、障がい等のハンディキャップをお持ちの方にも、もっと参加してほしいと考えている。そうした際に、バリアフリーや多様性などに問題があることも多いため、我々福祉部会がお手伝いに行くなどをしていきたいと考えている。まだ詳細を詰めている話ではないが、福祉部会主体で福祉のイベントを考えるだけではなく、こういった形でもまちづくり会議の福祉の部分を担当していきたいという意味である。(高野委員)

#### エ 広報委員会

久保田委員長から資料のとおり説明があった。

#### 【意見等】

特になし

#### (2) 全体集会の振り返りについて

資料のとおり、小川副会長から説明があった。

#### 【意見等】

- ・今後、道路がテーマだが、全体で考えていくようにしたい。(小川副会長)
- ・次の公民館まつりで結果報告ができるとよい。(尾崎会長)

(3) 辻堂まちづくり会議だよりについて

資料のとおり、秋山副会長から説明があった。

【意見等】

- ・お気づきの点があれば、2/27 (火) 中に連絡を事務局までお願いしたい。(秋山副会長)
- ・3/14 仕分け作業の手伝いをお願いしたい。(秋山副会長)  
→出席：松尾委員、和田委員、池本委員、小川副会長
- ・全体集会の人数はだよりだと 52 人とあるが、実施結果では 64 人になっている。どちらが正しいか。  
→64 人に事務局 6 名と湘南工科大学学生や教員 6 名が入っている。(事務局)  
→参加人数から除外する必要はないので、だよりの人数の 64 名に統一する。(小川副会長)

(4) 公募委員 (再任) の推薦について

- ・資料 P37 の 4 名が、次期まちづくり会議に再任公募委員として応募していただいている。辻堂地区郷土づくり推進会議運営要領に基づき、4 名を選考委員会に推薦するか、審議いただきたい。(事務局)  
→4 名を推薦することで承認いただいた。

3 その他

(1) 3/2PM2時 防災講演会

出席者を確認したい。(小川副会長)

→出席者：伊藤副会長、近藤委員、村上委員、山下委員

(2) プチモール東海岸の商店会のパンフレットについて

湘南工科学の学生にじっくりと時間をかけて取材をしてもらい、作成したパンフレットが完成したので報告する。まつりにおいては販売の手伝いなどもしてもらった。こうした活動は継続していきたい。(中野委員)

(3) 令和 5 年度「藤沢市未来共創会議」の開催について

3/9 (土)、3/16 (土)、3/23 (土) で実施される。希望者は電子申請で受付しているので、各自申請をお願いしたい。(事務局)

以上

令和5年度 第12回 くらし安心・安全部会 議事録

(開催日時) 2024年(令和5年)3月14日(木) 13:30~15:30

(開催場所) 辻堂市民センター 地区防災拠点本部室

(出席者) 委員: 山田部会長、赤塚委員、小川委員、秋葉委員、鷹野委員、齋間委員  
事務局: 新倉、宮木

- (議題等)
- 1 昭和通り拡幅についてのアンケート調査について
  - 2 令和5年度全体集会の結果について
  - 3 令和5年度子ども見守り活動意見交換会実施結果について
  - 4 令和5年度のふりかえりについて
  - 5 その他

(議題)

- 1 昭和通り拡幅についてのアンケート調査について
  - ・資料に沿って、事務局から説明を行い、6ページのアンケート調査自治会には、来週中に小川委員と事務局で調整後お願いに行く予定。
  - 2ページの令和6年3月末までを、4月末に訂正。お問い合わせ先の辻堂市民センターを入れる。5ページの記入用紙にまちづくり会議を入れる。
  - ・小川委員→修正があれば教えてほしい。

【意見等】

・拡幅後の歩道のイメージができないので、部会で昭和通りを見に行っても良かった。

- 2 令和5年度全体集会の結果について
  - ・資料に沿って、事務局から説明を行った。

【意見等】

- ・全体集会で出た意見については、各部会で担当する課題を全体会議で検討していてもよいのではないか。
- ・F班の発表がわかりやすかった。
- ・まつりのアンケートから課題と対応の仕方を考え、来年度の参考にする。
- ・アンケートを書いた人には、来年度のまつりで伝えられたらいいと思う。

- 3 令和5年度子ども見守り活動意見交換会実施結果について
  - ・資料に沿って、事務局から説明を行った。関係のある人への連絡方法について、各学校との調整を行っていくことが課題。

【意見等】

・おはようボランティアの高齢化、登下校の見守りについて応援が必要なのか。

→防犯、交対協、青少協の各団体でそれぞれ見守りをしている。

- ・学校が困っているのであれば、検討する必要があるのではないか。
- ・おはようボランティアはだれが募集しているのか。

→教育委員会、各学校での募集。

- ・大人が見守っていると子どもは安心する。
- ・見守り活動について考えなければいけない。具体的な課題、テーマを検討すべき。
- ・2019年度と変わっていなかった。見守り活動のシステムは出来上がってできているので、まちづくり会議で取り上げ無くても良いのではないか。各団体の連携と、情報の共有が大事。
- ・コミュニティースクールについてアンテナをはっておく必要がある。
- ・見守り活動について意見が出たので、各団体の動きと並べてみたらわかりやすい。

#### 4 令和5年度のふりかえりについて

- ・都市計画課等説明にきたが、言い訳に使われているような気がする。来年度は、部会で意見交換を行うのではなく、まちづくり会議で興味のある委員を募集して、部会とは別に研究会のような形でディスカッションの場を設けて実施することもよいのではないか。
- ・公民館まつりは良かった。講演会等共催事業で団体とのつながりもできて良かった。
- ・自転車マナーアップは交対協に引き継いで、連携がうまくいった。まちづくり会議が行った事業を関係する団体が引き継いでくれるような形にしたい。
- ・自転車マナーアップ研修は、人を集めるのが課題。幼稚園連合会から幼稚園園長にお願いして保護者に参加してもらおう。スタントマン、景品で人を集める等考えていく必要がある。
- ・チリリンスクールを学校の校庭で行ってはどうか。
- ・チームレスキューは、子どもが積極的で、参加した子どもには、防災意識を持ってもらえて良かった。

#### 5 その他

- ・3月の全体会議後に開催される、まちづくり会議のお別れ会の参加の有無の確認を行った。
- 参加者：山田部会長、小川委員、秋葉委員

以上

#### 【3月全体会議】

日時：2024年(令和6年)3月28日(木)

13:30~15:30

辻堂まちづくり会議

令和5年度 子ども見守り活動意見交換会開催結果

- 1 日 時  
2024年2月1日(木) 午前10時～正午
- 2 場 所  
辻堂市民センター 3階ホール
- 3 出席者  
19小中・各諸団体 21名  
まちづくり会議 8名  
事務局 4名
- 4 内 容  
別紙のとおり

# 令和5年度 子ども見守り活動における意見交換会

## 議事録

### 1. 開 会

### 2. あいさつ

### 3. 各学校からの報告

司会：2019年12月に開催したが、コロナ禍で開催できなかったが、コロナがおさまり、かかわり方に変化があったのではないかと思い、状況を把握するためにアンケートを取り、意見交換会を開催することとした。学校の状況を中心に話を聞きたい。

辻堂小：日頃から子ども達を見守っていただき感謝している。県内でも大きい学校で1,300人を有する学校となっている。通学路が狭いが、兄弟関係があるので、時差登校はできない。登校時はおはようボランティア・PTA・校外委員や地域の方に見守りをやっていただいて事故も少ないが、下校時間は子どもの気持が緩み事故やトラブルが懸念される状況がある。交通ルールについては学校でも取り組んではいるが、なかなか現場に立ってすぐに声を掛けないと身につかない状況。今の一番の課題は、おはようボランティアが4人いるが、なかなか担い手がいない状況になっている。PTAも広い範囲で行っていただいている。今後も地域の方のご協力をいただきたい。

浜見小：日頃から子ども達を見守っていただき感謝している。学区が狭いため、信号を渡っての登校がないので、登下校のトラブルは少ないが、来年度からは希望で他地区からの登校もある。また、悪天候や不審者への対応等、突発的な登下校の見守りには、地域の方の手を借りて多くの目で見守っていただきたい。

高砂小：日頃から子ども達を見守っていただき感謝している。昨年、露出者がしつこく大変だった時には、地域の方の力をお借りしとてもありがたかった。引き続き、協力をお願いしたい。

八松小：日頃から子ども達を見守っていただき感謝している。通学路には、大きな道路、交通量が多く、跨線橋もあるので、危険で事故が多い。おはようボランティアさん8名に協力していただいているが、人員不足なので地域の方のご協力をお願いしたい。

湘洋中：日頃から子ども達を見守っていただき感謝している。学区が広く、登校に時間がかかる生徒がいる。登校範囲が辻堂と、鶴沼で、鶴沼地区の情報が入ってこないのので、地区の情報共有が課題となっている。コロナ禍によってPTA活動が縮小し校外の見守りに困っている。不登校生徒も多く、民生委員や地域の方の協力が必要になっている。

高浜中：日頃から子ども達を見守っていただき感謝している。4月に着任して、生徒には、「自分の身は自分で守れ。」と言っている。登下校の交通事故は少ないが、度々露出者が出ている。昨日も8時20分にも発生し困っている。ぜひ、地域の方のご協力をいただきたい。正門前の道路が街路樹により見通しが悪い場所があり、道路維持課に相談しているが、校門を出ると、すぐに自転車道もあり危険で困っている。

白浜養護：日頃から子ども達を見守っていただき感謝している。市内で唯一の養護学校で登下校はスクールバスや保護者の送迎で、駐車場係もいるので、登下校中の交通事故の心配はないが、時間中に門を開けて校外に出ていく生徒がいる。先日も、高等部の生徒が門を開け出て行ったので、すぐに追いかけたが、なかなか追いつかず、浜見山の交差点を渡ったところで追いついた。信号が青だったからよかったが、心配である。住居の周りには危険なところがある生徒もいて、休日の見守りが課題。地域の皆さんで、見かけられたら、声をかけていただきたい。

#### 4. 意見交換

まちづくり会議委員：不審者情報等の連絡ルールがあれば教えてほしい。

辻堂小：辻堂小では、警察等から情報が入ると、連絡メールで保護者、市民センター等、登録している人には、連絡がいくようにしている。

まちづくり会議委員：各学校の共通ルールはあるのかが伺いたい。たとえば、不審者情報は、警察から入るのか、保護者から入るのか。青少年指導員をしているので、青少年指導員経由で情報が入るが遅い。

辻堂小：共通ルールはない。被害にあったら、まず、警察だと思うが、保護者によって対応が異なる。近隣の学校には、情報提供している。

浜見小：警察、学校、教育委員会のルールはある。そして、近隣学校への連絡のルールもあるが、地域への連絡のルールはこの地区にはない。

司会：市が情報を出すタイミングが遅いので早くしてほしい。時間がかかるのか。

辻堂小：文章を考えてからの発信になるので、少し時間がかかる。また、子ども、家庭、登下校について等状況や、被害のレベルによって対応がことなるので、遅くなる。

会長：街路樹によって、見通し悪いこともきけんだが、犯罪の観点からも、立木が多いほうが、犯罪が多い。

副会長：通学路のどこが危険なのかわからない。ブロック塀や道路の狭さ等情報の共有が大切だと思う。通学路の安全性がわかれば、安心。

まちづくり会議委員：おはようボランティアをしているが、大人のモラルがない。子どもは話に夢中になり信号を渡っているが、信号が変わるとすぐに車が通り危険。安全性を考えないといけない。

高砂小 PTA：PTA で危険なところを回り、写真等を掲載した資料を作成している。自分たちも危ないところを把握したい。皆さんと共有したい。以前は、PTA で見守りをしていたが、コロナ禍でしていないので、地域の方に協力していただいて、見守りをしたい。子どもが、マルエツ前の公園で遊んでいたときに、団地の人に、「団地に住んでいるのか、だれだ」と聞かれたので、怖くなって逃げようとしたら、肩をつかまれたので、学校に連絡したが、交番に連絡するのが正解だったのか。

司会：まちづくり会議、くらし安心・安全で、地下道の三車線化やオーケーの信号の歩者分離など、まちづくり会議として取り組んでいる。本日いただいた意見を考えたい。

副会長：前回も同じ話だった。今回は、地域連絡システムを作りたい。学校の連絡メールに登録できれば見守りの強化になり、地域で見守ることができる。

辻堂小：学校からのメールはセンターにもいっている。センターが振り分けて、該当団体に連絡していただけないか。

事務局：事務局での対応は難しいので、各個人に登録いただき、何かあったときに動ける人が対応していただきたい。

会長：センターが対応できないのであれば、どうすればいいのか、まちづくり会議としてみんなで考えていけばいいと思う。

防犯協会：「自分の子は自分で守る。」が基本だが、1人では何もできな

い。地域の力が必要になる。みんなで一緒に歩いてみなければわからないこともある。

副会長：2019年後に変わったこともある。辻堂小学校前の交差点問題や、社会科の授業で地域のことを話したり、まち歩きもした。ここで話し合ったことで、動いたこともあり情報交換したかいがあった。

浜見小：今日ここで回答することは難しい。学校間で話し合い、よりよい情報共有のしかたをまとめて相談したい。

司会：まちづくり会議として、動けることもあるので、課題を教えてほしい。何ができるのかを考えていきたい。また、不登校の問題を教えてほしい。

湘洋中：不登校の理由は1人1人理由が異なる。学校にはこられるが、教室に入れない。外に出られるが、学校に来られない。家から出られない等状況も異なる。いろいろな手立てが必要であるが、社会で生きる力をつけてあげたいと思っている。民生委員児童委員やCSWにそれらの状況を知っていただき協力をしていただいている。

司会：不登校問題においての子どもの居場所づくりもまちづくり会議のテーマとして検討している。コミュニティスクールも、子どもの見守りは、どういった関係になるのか。何か考えているのか。

高砂小：辻堂地区には小中学校が7つある。来年度は、高浜中、浜見小、高砂小の統合型コミュニティスクールになるため、今後、具体的な在り方を考えていかななくてはならないと思う。

八松小：不登校は理由が様々、学校で嫌なことがあっただけではないし、決まった時間にしなければならぬことに窮屈さを感じるなど、明確な理由がない場合もある。心配なのは、保護者が仕事に行くと、日中1人になる子どもがいて、ゲーム等にたより生活のリズムが狂い、取り残されている子がいる。小学生は善行に不登校児がいける施設があるが、保護者が連れて行かなくてはいけない。辻堂地区内に子どもの居場所があればよいと思っている。

ネットワーク：組織として、グループとして活動することも大切だが、個人個人が気持ちをもってやるのが大切だと思う。午後4時から5時まで毎日浜見山交差点から海岸に向かって歩いているが、自転車のマナーが気になっている。

司会：辻堂地区の歩道は自転車通行可が多く、歩行者が危険。自転車マナーに頼るしかない。まちづくり会議でマナーアップ研修も開催しているが、参加者が少ない。不登校は社会福祉協議会が「かけはし」をしている。

社協：初めて参加して少し問題がわかった。社会福祉協議会で不登校の生徒に対して「かけはし」という事業を始めた。場所の提供だけだが、今後、各団体と連携しながら、次のステップに進みたい。

交対協：1日・15日に旗振りをしている。辻堂は道路が狭い場所がある。警察にも相談しているが対応しようがないので、モラルに頼るしかない。自転車のマナーが悪い。

司会：昭和通りが狭いので、まちづくり会議のテーマとして取り上げている。通学路にもなっている。

民生委員：初めて参加して、民生委員としてかかわっていくことがあれば、もっとかかわっていきたいと思った。通常は、高齢者に対する問題が多いが、児童委員児童委員を中心に見守りもしている。学校評議員として学校に関わっているが、学校が必要な団体を決めていくことが有意義なことだと思う。

辻堂小PTA：これだけ、見守っている人がいることに感動した。自転車マナーについての校外指導をしていただければ嬉しい。不審者情報を誰に連絡したらよいのかわからないので、ルールを決めていただくと助かる。

交対協：電動自転車、電動キックボード、ボードを積んだ自転車等マナーが悪く困っている。

青少協：情報交換会があることがありがたい。昔、青少年指導員として、2年間、2か月くらい毎日パトロールを行ったことがある。毎日続けていたら変質者もいなくなった。見守る心が続いていけたらいいと思う。

## 5. 閉会

お知らせ：2月4日（日）午後1時30分から公民館ホールでまちづくり会議全体集会「辻堂の道」を開催します。出席できるかたはご参加をお願いします。

以上

令和5年度 第12回 辻堂交流部会 議事録

(開催日時) 2024年(令和6年)3月14日(木) 9時30分～12時40分

(開催場所) 辻堂市民センター 第1談話室

(出席者) 1 委員 …秋山部会長、吉田(紀)委員、中野委員、片桐委員、吉田(秀)委員、久保田委員、鶴田委員

2 事務局 …片山、狩野尾

(議題等) 1 【リマインド】辻堂寫眞館スピンオフ企画「ぶらり辻堂」について

2 【リマインド】第6回辻堂ストリートギャラリープロジェクト「恋する辻堂」

3 【振り返り】八松小ウォークラリーについて

4 次年度の辻堂朝市の開催日と担当部会について

5 子ども回覧板について

6 令和6年度実施予定表について

7 その他

1 【リマインド】辻堂寫眞館スピンオフ企画「ぶらり辻堂」について

当日の予定と参加者の再確認をおこなった。

日時：3月17日(日)午前9時30分～

参加者：秋山部会長、千葉委員、和田委員、吉田(秀)委員、吉田(紀)委員、秋葉委員、近藤委員

2 【リマインド】第6回辻堂ストリートギャラリープロジェクト「恋する辻堂」

一般は11件の応募があった。学生作品19本と合わせて計30本を業者に作成依頼済。

掲出作業：4月4日(木)午前9時30分～ ※市民センター集合

参加者：秋山部会長、吉田(紀)委員、吉田(秀)委員、片桐委員、近藤委員

※LINEにて、本日の欠席者の参加を確認する。

※小雨決行。天気予報次第で日程を変更し、LINE等で共有する。

3 【振り返り】八松小ウォークラリーについて

参加委員が当日行った振り返り結果を共有した。なお、当日の参加者数は現在学校からの回答待ちとなっている。

(意見等)

・児童向けの冊子があれば、子どもたちにとって辻堂の歴史についてより深い理解に繋がると思う。

・子どもたちはとても喜んでいて、見ているこちらも元気になった。

#### 4 次年度の辻堂朝市の開催日と担当部会について

委員改選を受けて、来期の新メンバーに話ができるのが4月の全体会議になることから、4月、5月の担当部会についてと、他部会担当時に交流部会委員が1人入って実施してきたことについて、次のとおり決定した。

(意見等)

- ・4月分は今期のメンバーに3月の全体会議で協力を依頼し、5月分は4月の全体会議で来期のメンバーに部会を問わず募るのはどうか。  
→3月の全体会議で提案する。※4月11日、25日。8:00交流スペース集合
- ・交流部会委員が1人入ることについて、今期で実施方法等は他部会にも伝わっていると思うので、今後は入らなくてもよいのではないか。  
→3月の全体会議で提案する。
- ・これまでの経過を含め、来期の4月全体会議で朝市についてきちんと説明したほうがよい。  
→議題として挙げ説明する。

#### 5 子ども回覧板について

吉田(秀)委員から、主担当で話した内容について共有があった。なお、概要は次のとおり。

- ・企画を考えた背景として、子ども向けのイベント情報が回覧板に載っても、大人が詳しく読まないことで子どもたちまで届けられていないという、問題提起があった。
- ・子ども向けイベント情報を集約し、子ども専用の回覧板をつくって子どもたちが回覧板を見るようにすることでこの問題の解決を目指した。
- ・しかし企画を練る中で子ども向けイベントの情報を集約するのではなく、今の子どもたちが興味あることを自ら記事するという内容(豆記者)にシフトして、当初の目的から少しずれた仕組みになった。※豆記者になる子ども募集や取材・記事制作で負担が大きかった。
- ・前回の仕組みにとらわれず、目的を整理して改めて企画を検討したい。その際には子どもを取り巻く環境の変化(IT化)も考慮し、回覧板という手段が適当なのかも判断したい。

(意見等)

- ・子どもたちに回覧板の機能を知ってもらうためではなく、記事の制作を目的にするならば、回覧板ではなくタウン誌を作成するという方向性に変えるのはどうか。
- ・ここでの子どもはどの層を対象としているか。  
→小中学生だが、中学生は部活や受験等がありイベント参加も少ないので、小学生が基本。
- ・子どもに直接読ませるのであれば、小学校1年生と6年生では漢字の量や表現も異なる。
- ・子どもに見せるかどうかは親次第なので、学校でまわすのはどうか。
- ・子どもにかかわらず、回覧板をまわさなくてよいという家庭が増えている。
- ・若い世代に向けて発信するのであれば、電子がよいのでは。

・情報伝達を1番の目的とするのであれば回覧板でなくてもできるが、回覧板にはご近所との顔を合わせる機会を生み出すという側面もある。回覧板についての理解を深めてもらいたいのであれば、回覧板にこだわる必要がある。

→最近では直接手渡しをしないことも多い

→回覧板を存続するべきか、という壮大な議論につながっていく。

・子ども向けの情報が集まっているものがあれば便利だが、どこまでリサーチして情報を集めてくるのか、また情報発信元が異なればリリース日も異なるため、それらを集約するタイミングを決めるのも簡単ではない。さらに、イベント自体は毎月どこかしらで開催していることから、毎月集約となるとかなりの負担となる。

→夏休み号・冬休み号のように、季節を限定して発行回数は少なくするのはどうか。

・電子化することで見る側が情報を選択できる状態になり、見ないという選択肢も増えるので、むしろ回覧板という実際に「物」があるほうが見てもらえるのではないか。

・豆記者に関しては、回覧板から切り離して、1つの事業として考えるべき。また、学校で同様のことを実施しているのであれば、まちづくり会議でおこなうからこそその内容が必要。

→色々な要素が絡み合い結論がでないため、今回の議論で見えてきた3つのテーマ（子ども向けイベント情報の集約と伝達、回覧板の役目と伝承、子どもの興味あることを自ら調べて発信する豆記者）を来期に引き継ぎ、どのテーマを取り扱うか、検討してもらう。

→1つの事業に3つの要素があったため、来期の事業予定では「子ども回覧板」ではなく、3つに分けるか。

→発端は1つの事業であったことが分かるようにすべきなので、わけない。

## 6 令和6年度実施予定表について

1, 2月議論した結果を踏まえ、年間スケジュール(案)を作成、確認した。

【辻堂朝市】…記載事項に変更なし

【みんなで美化キャンペーン】…記載事項に変更なし

→夏の開催については、①暑くて熱中症の危険があるため実施なしとする②中学校の3者面談の日程を合わせられないが暑さを避けて梅雨前に実施し花植えもする、のどちらにするか検討し、目的が除草・花植えを通じての地域交流であることから、開催時期が合わない中、無理に除草・花植えを手段にして地域交流を図ることはないとし、①の内容で共催団体に提案する。

【辻堂歴史物語】…実施時期を3月から7月初旬に変更

→講師の櫻井氏の体調次第。様子が見られるように年度末ごろとしていたが、実施できそうであれば早めに開催したほうが良いということで、変更した。

→スケジュールを5月企画検討、6月広報募集、7月の第1週か第2週の土日に実施としつつ、櫻井氏の体調が優れず、実施が難しい場合は他の講師も検討していく。

【TSUJIDO ギャラリーの活用】→事業名称及び記載位置を辻堂まちづくり会議全体事業に変更。

→「TSUJIDO ギャラリー」は辻堂公民館事業として、学校枠、サークル枠、地域団体枠のそれぞれスペースがあり、辻堂寫眞館が地域団体枠で展示していた。辻堂寫眞館だけが展示対象ではなく、まつりで制作した年表等、交流部会以外でも展示できるものがあれば他の地域団体の展示スケジュールを確認しながら展示していくもののため、まつり・全体集会と同様に辻堂まちづくり会議全体事業として記載する。

【辻堂さんぽ】…実施時期、開催回数の変更。それに伴うミニさんぽの単独事業化

→人気のある事業だが、年2回開催はスケジュールがタイトであり、また年末年始にかかる開催は協賛店にも負担のため、年1回開催にしたほうがよい。

→年1回開催として、辻堂さんぽは春、ミニさんぽは秋、というように棲み分けをする。

→チェックポイントの場所が分かりにくいという参加者の声や、協賛店増加を見込んで、A3見開きのチラシに変更予定。

【辻堂ストリートギャラリープロジェクト】…記載事項に変更なし

→2月の部会で話し合った結果を踏まえ、湘南工科大学の中尾教授と打ち合わせをした。

→2年生学科共通の後期授業でタイアップするのではなく、中尾教授のゼミ（3、4年生）とタイアップする。

→従来の授業参加協力のスタイルではなく、テーマ決めや作品のトリミングなどにもまちづくり会議委員がゼミに参加して、フラッグ作成に今よりも深く関わる。

→打ち合わせの中では、辻堂さんぽとコラボさせて、さんぽルートの風景写真はどうか等、アイデアも出ていた。

【辻堂の海を守ろう！】…記載事項に変更なし

→来期、企画の検討から行っていただく。

【子ども回覧板】…本日話し合った内容を追記

→「5 子ども回覧板について」参照。

【ふるさとマップの更新】→記載位置を辻堂まちづくり会議全体事業に変更。

→ふるさとマップの更新は交流部会だけの事業なのか。全体で実施するべきではないか。

→目的による。歴史伝承であるならば交流部会の担当だが、それ以外のことを載せるのであれば全体での取り組みとなる。

→ふるさとマップ実行委員会を設置し、各部会から担当者を募ってワークショップ形式にしたい。

【辻堂公民館まつり】→記載位置を辻堂まちづくり会議全体事業に変更。

→交流部会として作業が生じることから、部会の予定表に記載していたが、他の事業とは区別して記載する。

【八松小ウォークラリー】→記載事項に変更なし

→他の学校では実施しないのかについては、学校からの要望次第となる。

(意見等)

・来期のメンバーに全ての事業を企画・検討してもらうのではなく、「実施が決まっている事業」「実施を検討する事業」の2つに大別し、「実施を検討する事業」として、新企画の余地を残しておくのはどうか。

→見てわかるように予定表に反映する。

→「実施が決まっている事業」については、現時点で日付を決めておき、他部会や他団体の事業と重ならないように、今のうちに調整しておいてはどうか。

→現時点で各団体の実施事業の一覧というものはないが、事務局内で調整する。

・予定表に辻堂公民館まつりを掲載するのであれば、全体集会も載せるべきでは。

→別枠で、辻堂まちづくり会議全体事業として記載する。

・交流部会から挙がっている「辻の盆への出展」について、全体会議で意見提案してはどうか。

→ふるさとマップ、TSUJIDO ギャラリーの活用、辻の盆への出展については、3月の全体会議で意見提案する。

## 7 その他

・【リマインド】辻堂地区復興まちづくりイメージトレーニングについて

日時、参加者を再確認した。

日時：3月16日(土) 午前9時30分～ 場所：辻堂市民センター 第二談話室

参加者：秋山部会長、千葉委員、久保田委員、吉田(秀)委員

以上

## 令和6年度「辻堂朝市」当番表

○開催日 原則、毎月第2・4木曜日（荒天の場合は中止）

○販売時間 午前8時30分頃～9時45分頃（ただし、客足状況・売り切れ次第で終了）

○場所 交流スペース

○周知方法 自治会・町内会回覧、市民センター内掲示、駅前掲示板、HP、Facebook

○主催 辻堂まちづくり会議（事務局 辻堂市民センター）

月	日	曜日	担当グループ	担当者1	担当者2	担当者3	職員	職員
4月	11日	第2木曜	-					
	25日	第4木曜	-					
5月	9日	第2木曜	-					
	23日	第4木曜	-					
6月	13日	第2木曜	交流部会					
	27日	第4木曜	交流部会					
7月	11日	第2木曜	くらし安心安全部会					
	25日	第4木曜	くらし安心安全部会					
8月	8日	第2木曜	福祉部会					
	22日	第4木曜	福祉部会					
9月	12日	第2木曜	交流部会					
	26日	第4木曜	交流部会					
10月	10日	第2木曜	くらし安心安全部会					
	24日	第4木曜	くらし安心安全部会					
11月	14日	第2木曜	福祉部会					
	28日	第4木曜	福祉部会					
12月	12日	第2木曜	交流部会					
	26日	第4木曜	交流部会					
1月	9日	第2木曜	くらし安心安全部会					
	23日	第4木曜	くらし安心安全部会					
2月	13日	第2木曜	福祉部会					
	27日	第4木曜	福祉部会					
3月	13日	第2木曜	交流部会					
	27日	第4木曜	交流部会					

※ まちづくり会議委員3人とセンター職員1人にて実施。

※ 販売開始時間（午前8時30分）に間に合うように、8時00分以降に  
来場して、準備を行ってください。

※ 都合によりお休みされる場合は、早めにご連絡ください。

(開催日時) 2024年(令和6年)3月21日(木) 13:30~15:20

(開催場所) 辻堂市民センター 地区防災拠点本部室

(出席者) 大橋委員、松尾委員、村上委員、池本委員、山下委員、伊藤委員、高野委員、  
黒川委員、近藤委員

(事務局) 辻堂市民センター 横田 古河  
地域共生社会推進室 佐藤(敬称略)  
藤沢市社会福祉協議会 小野(敬称略)

- (議題等)
1. 「ヤングケアラーについて考える【研修会】」の結果報告について
  2. 今年度の振り返り ~2年間の任期を振り返って~
  3. 情報交換等
  4. その他

〈議題〉

1. 「ヤングケアラーについて考える【研修会】」の結果報告について
  - ・別添資料のとおり事務局から実施結果を報告

〈意見等〉

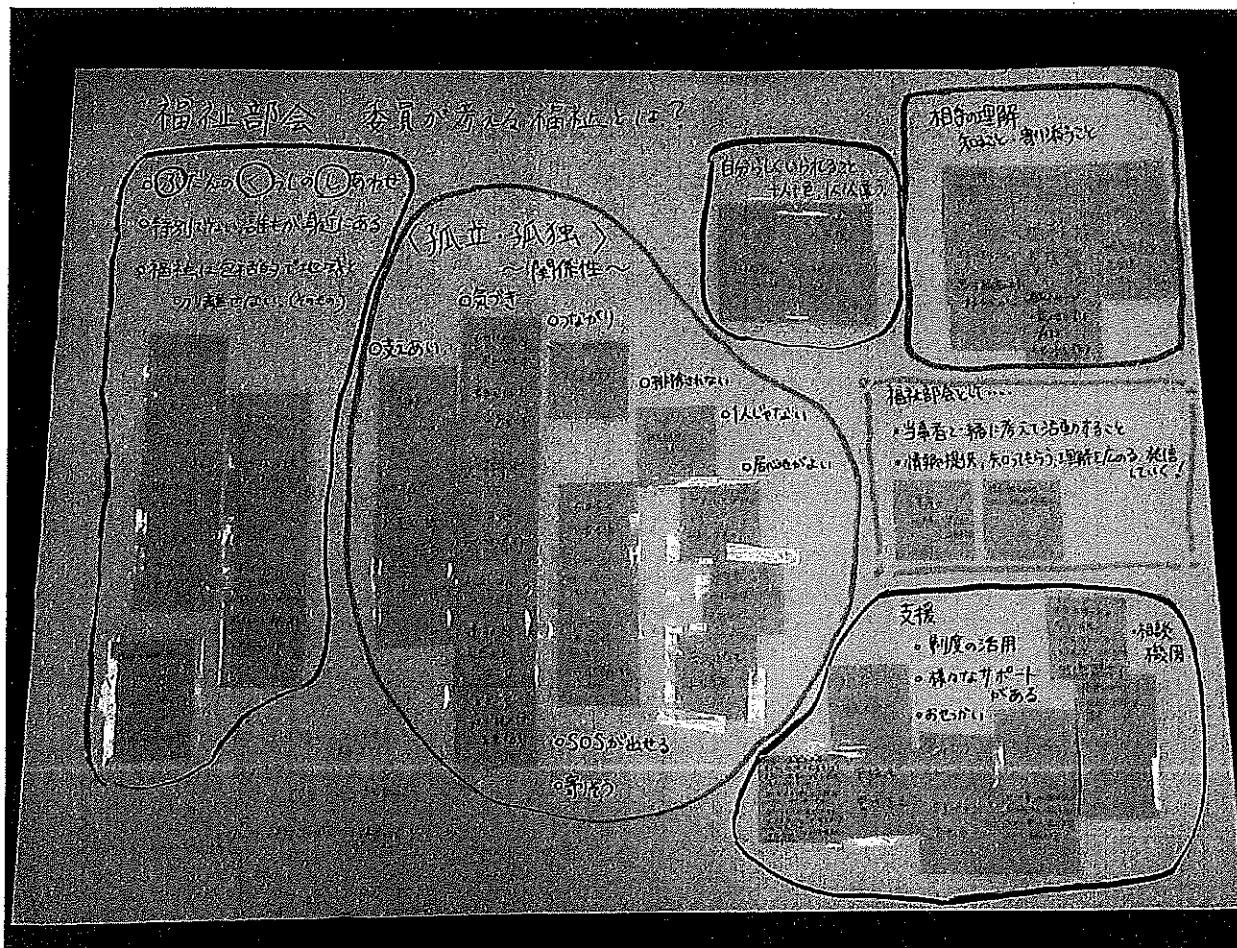
- ・当事者の方の意見が聞けて、何かやらないといけないと思えた。
- ・印象に残っているのは縦山さんが「特別扱いされるのは嫌だ、かわいそうだと思われたくない」と言っていたこと。
- ・また一般の方の参加が少なかった。どうやったら声が届けられるのか。
- ・以前にも当事者の方の声を聞いたことがあるが、総じて皆さん明るい。そのような声に安心した。私たちにはわからない心情が感じ取れてよかった。
- ・参加者の中に高校生が1人おり、お話を聞いたら社会福祉士を目指しているとのことだった。そのような方が参加してくれ、一助になったかと思うと嬉しかった。
- ・縦山さんが今なおお母様が長期入院されているのに自分が自由に生活できていることに罪悪感があるとお話しされていた点が新たな気づきだった。
- ・一般の方と共有できたこと、そうゆう場があったことがよかった。
- ・ケアラーの子どもたちは偏見の目で見られたくないということは、周りはケアラーに対して何をどうすればいいのか。
- ・今までは講師の研修会だったが、当事者の声を聞いた上で考えていくことが大事。
- ・支援者の人から、実際過去にヤングケアラーを頼ってしまった経験がある。大事な時間を奪ってしまっていたのではないかと反省している。
- ・必要とすることは人それぞれ違う。何をすべきという一つの答えはない。寄り添うことが大切。
- ・中島さんが投げかけていた「縦山さんのお母様が他人の家に突然行ってしまい家族が菓子折りを持って謝罪に行ったというお話・・・、もしあなたの家だったらどうしますか？どう対応しますか？」というのがすごく心に響いた。当事者は悪いことをしている、迷惑を

かけているという意識を持っている。それを、理解されている安心感のある地域、ここに住んでいていいと思えるそんな社会にしていきたい。そのためには皆が話し合うこと、排除しないことが大事。

- ・認知症や統合失調症など、「わからない」から怖い。一般の人への理解を広めることが重要。少しずつでも、ちょっとだけでも知っているでいい。続けていくことが大事。まちづくり会議として、地域へ働きかけ、住みやすいまちにしていくことこそが福祉の理解であると思う。気づきを発信していくことが大事。

## 2. 今年度の振り返り ～2年間の任期を振り返って～

- ・今年度を振り返りながら、改めて福祉のイメージやそれぞれの委員が思う福祉について自由に意見交換を実施
- ・時間を決めて付箋に思うことを書き出し、模造紙にカテゴリー分けをしながらまとめた。



## 3. 情報交換等

○4月2日世界自閉症啓発デーについて

山下委員から、4月2日18時に江の島シーキャンドルがブルーにライトアップされ、世界中が青い光で自閉症を応援する点灯式が行われるため、興味ある方はぜひ行って見てほ

しいとお知らせがあった。それに合わせ3月26日～4月4日には藤沢市役所にて自閉症啓発展を実施予定。また、4月2日～8日は発達障害啓発週間となっている。

#### 4. その他

○全体会に伝えるべきこと（本日の会議のまとめ）

- ・未だ地域での理解が乏しいヤングケアラーに関する事、また障がいに関する事等について、一般の方への理解を広めていくことが大事であり、それが地域でできること。少しずつでもいいから地域に働きかけ続けていきたい。それが住みやすいまちを作ることにつながっていくはず。
- ・2年間の任期を振り返ると、当事者と一緒に考えて活動することができた。福祉部会として取り組むべきことは、情報の提供、知ってもらうこと、理解を広めること、発信していくことであることを共通認識とした。

以上

## ヤングケアラーについて考える【研修会】実施結果について

### 1 日時

2024年3月3日(日) 14:00~16:15

### 2 場所

辻堂市民センター 3階ホール

### 3、参加者 42人

一般	10人
まちづくり会議委員	14人
民生委員(まちづくり会議委員と兼ねている場合は まちづくり会議委員でカウント)	10人
藤沢市社会福祉協議会	2人
神奈川県社会福祉協議会	1人
事務局	5人

### 4 内容

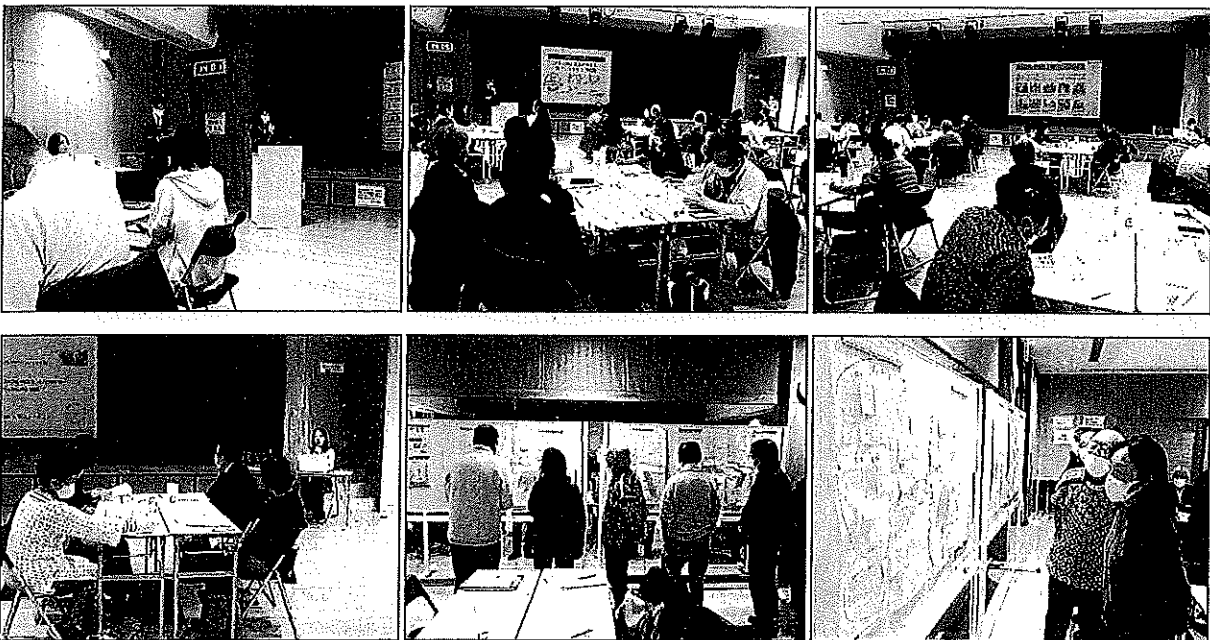
#### 〈第1部〉 講演会

講師：(社福)神奈川県社会福祉協議会 ケアラー支援専門員 中島契恵子氏  
ひとりやないで！～\*統合失調症の親を持つ子向けの広場\*～  
代表 樺山枝里氏

#### 〈第2部〉 振り返り

グループに分かれて、参加者同士で講演会を聞いての感想を自由に語り合う  
※グループワークでの感想等については別紙参照

### 5 当日の様子



以上

## ヤングケアラーについて考える【研修会】

### グループワークでの主な意見や感想

グループ	意見・感想等
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者の方のお話に関心を動かされた。</li> <li>・結婚の条件に母の病気を理解してくれる人と考えていた。</li> <li>・身体が自由がきかなくなった人の介護とはまた別の精神病の人の介護の違い、大変さ。</li> <li>・当事者の体験談は初めて聞いた。</li> <li>・精神疾患はちょっとしたきっかけでなることもある。</li> <li>・世話をしている子どもも精神的に病んでしまうこともあるのではないかと。そうならないように周りから何か手助けできたらいい。</li> <li>・講演や体験談を聞いたことは自分の糧になった。</li> <li>・気づいたときにどうやって声をかけたらいいかわからない。</li> <li>・まず信頼関係を築くことから始める。</li> <li>・偶然を装って声をかける。</li> <li>・ヤングケアラーは誰にでも起こりうることで特別なことではない。</li> <li>・今日の講演を聞いて気づきのためのレーダー（アンテナ）を日々張り巡らせながら生活していこうと思った。</li> <li>・精神疾患の親というのはより不安なのではないか。「お母さん」を頼れなかった。</li> <li>・見守るだけでよいのか、どんな声かけをしたらよいのか。</li> <li>・何ができるかわからない。「味方がいるんだよ」をどう伝えたらよいのか。</li> <li>・「かわいそう」と思われるが嫌。特別扱いされるのが嫌。</li> <li>・気づけるのは学校の先生なのか、周りの大人はどうしたらよいのか、見守るのは難しい。</li> <li>・支援を受けることは恥ずかしくない。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・罪悪感を抱きながら生きていくと、大人になっても自分らしくいられない。</li> <li>・高齢になってもケアラーは続く。</li> <li>・ケアの対象は高齢者だと思っていたので、兄弟にまで及ぶことに驚き。</li> <li>・子どもの頃から親の面倒をみる重み。</li> <li>・言ってはいけないことを言うてしまうことに罪悪感。</li> <li>・ケアラーは大人になってからでも大変なのに、それを子どもの頃からではさぞ大変だっただろう。</li> <li>・大人に手伝ってほしいことが特に何も無いという発言に驚き。</li> <li>・どう寄り添ってあげればいいのか。</li> <li>・ヤングケアラーへの気づきは学校の先生の役割が大きい。</li> <li>・自治会単位で見つけることは難しい。</li> <li>・見える部分としてお話ししていた「買物・ゴミ出し・回覧板」は当たり前なことであって、それがケアラーと結びつかない。</li> <li>・障がい者家庭は外に知られたくない。サービスや支援はケアラーの負担軽減になるが、個人情報の壁がある。</li> <li>・信頼できる大人を見つけたい、居場所づくり、顔見知りになる。</li> </ul>

- ・統計的にヤングケアラーの人数が多いと感じた。
- ・地区内では気がつかないが、当たり前とっていて表に出てこないのかもしれない。
- ・家族への愛が感じられた。
- ・自身もヤングケアラーだった。親が働いていて下の子の面倒をみていた。どこにSOSを出していいのかわからなかった。母が寝ていてお弁当は簡単なものしか作ってくれなかった。入院した父のベッドの横に布団を敷いて付き添っていた。病院から大学に通学していた。昔は大家族だから誰かがケアできたが、今は核家族だから一人に集中してしまう。
- ・当たり前ケアをしてきて、特別なことをやっているという意識がない。何年も後に気づいて、今さら、と思う。
- ・いじめにつながる可能性がある。
- ・当事者の支援をしてきたが、その家族も当事者と考える。核家族化や兄弟が少なくなってきたことも背景にある。
- ・どこからがケアラーで、どこからがお手伝いなのか、ヤングケアラーの線引きが難しい。
- ・呼び名ができたことがチャンス、話題になること、知ることが大事。
- ・ケアラーをテーマにした映画は結構多い。
- ・昔は社会全体がそれが当たり前だった。
- ・いろんな事例を知ることから始まる。
- ・特別なことではなく普通に接することが大事。
- ・学校内で活かせる場は作れないか。先生は子どもたちのことを知っているが、支援の方法がわからない。道徳の時間などで話題として取りあげてみてはどうか。
- ・ケアラー本人に生きる力をつけさせてあげたい。
- ・ポジティブにとらえる、周りの人の支援があるとプラスとして残っていく。

C

- ・男親一人で女の子を育てる難しさがあるのではないかと感じた。
- ・どの方がヤングケアラーなのか見つけるのが難しい。思ったより先生に相談しているケースが少ないと感じた。
- ・ヤングケアラーの問題がこれだけ話題になっているのに、青少年指導員に話が上がってこないことが疑問だった。
- ・ヤングケアラー自身は助けを求めていることが数字に表れてこない。
- ・当事者の方は自分のことをヤングケアラーだと思っていない。
- ・地域にもともと気遣う関係性がなければ、見つけることにはつながらないし、見つけても意味がない。
- ・ヤングケアラーと定義するのが本当にいいのか。
- ・身近に該当する人がいなかったため、イメージがつかなかった。
- ・見えない部分が多い。
- ・学校の先生が一番子どもに接しているので気づきやすい。そこから民生委員に見守りの要請がくるといい。
- ・子ども神輿に出てくる子どもたちには、そういう子は見えない。
- ・交通、あいさつ声かけ運動をしている人に見つけてもらう。その中で気づきがあるのではないか。服が乱れている、遅刻している等。
- ・困ったときに相談できる場所の選択肢を増やす。そうゆう子たちがいるということを大人の方が知っていることが重要。周知は広がっていかないといけない。

D

E

- ・スーパーで働いているが、小さい子どもの買物が気になる。お菓子ではなく野菜や肉を購入していて、いったい誰がどう調理するのか。
  - ・ヤングケアラーは新聞やテレビでは目にするが、周りにいないから実感がわからない。今日は民生委員として勉強のためにきた。
  - ・メディアで取り上げられているからざっくりとした情報は知っている。障がい者とかマイノリティの人たちと接することがないため、具体的なことが知りたくてきたが実態調査だけだった。県でどのくらいの人数の支援ができたかとか、どのくらい支援につなげられたかとかが聞きたかった。せっかく参加したけど、プロの人の実際の支援の話がなかったのは残念。行政が把握しているNPOでこんなのあるとか、公でも個人でもどんな支援をしているのか知りたかった。
  - ・個人情報観点でどのような言葉かけをしたらいいかわからない。
  - ・縦山さんは自分で自分の母のことをオープンにすることができたが、できない人もいる。
  - ・ひょっとしてと思ってから、アプローチするまで時間がかかると思う。
  - ・「何かあったら言ってね」と言われても、子どもも何を頼んだらいいのかわからないのではないかと。言葉かけも難しい。フワツとしている。
  - ・自分に何ができるのか、実際のアプローチの例が知りたい。また、子どもがSOSを出すことができた成功例がわかればヒントになる。友達の存在も大きい。
  - ・今日の参加者にヤングケアラーと呼ばれる人の親世代が少なかったように思う。興味がないのかもしれない。
  - ・おはようボランティアで、半年か1年ぐらい同じズボンや靴を履いている4～5年生の男の子がいた。しかもいつも遅刻してくる。校長先生に聞いたら色々な事情がある家庭のようだった。友達もいなくて孤立している様子だった。
  - ・ヤングケアラーは情報がないと把握が難しい。プロがどうしているのか知りたい。
  - ・民生委員は高齢者の情報はわかるが、ヤングケアラーはわからない。
  - ・本人が情報を出してくれるしかわかる方法がない。
  - ・長い目でみるしかない。
  - ・引っ越してきた人も挨拶しない、地域のつながりが希薄、介入したくないと思っている。もう少し向こう三軒両隣の関係で繋がるべき。
  - ・障がい者やマイノリティに対して、見えているのに見えていないフリをする。
  - ・困った人への声かけや助け合いが少ない。顔が見えない世界（SNS等）ではつながりたいのに、見える世界（地域等）ではつながろうとしないのが令和の時代。
  - ・支援機関に相談することが恥ずかしいのではないかと。
- 
- ・支援を必要としている方の力になりたい。有資格者としてスキルを使うことができるのに、地域とのつながりがないため、何もできない。
  - ・昔は農家の子どもは家業を支えるために家事・育児を行っていた。
  - ・本人あるいは家族から具体的な発信がなく、外から見てわからない。
  - ・民生委員の活動は高齢者向けが中心、子どもに関するケースを持っていない。
  - ・不登校の児童生徒の中には、親の精神疾患が原因となっていることがあると聞いたことがある。入口を知ることも大事。
  - ・担任の先生が一次的に対応しているが、民生委員は知る機会がない。個人情報の問題があり学校と地域での共通課題化が難しい。先生は子どもたちのケア、民生委員は親や生活のケアを制度とつなげることが大事。

F

- ・支援を必要としている子どもや家族に何が必要か、気づけることはないのか。それぞれの立場、一人の地域住民として考えてみたい。日々のゴミ出しや買物の場面などで気づくことがある。そうしたときに、次の一步が打てるか。
- ・民生委員の立場をどう使ったらいいのか。子どもにとっても立ち入ってほしくない領域でもあるはず。
- ・まずは声をかける。「すごいね」「えらいね」はNGワードだと本日の講演を聞いてわかった。
- ・子どもがそこにいていいという認識。当たり前だと思っている子どもの気持ちを考えたことがなかった。子どもの視点に思いがいたるかで、ケアラーへの支援が変わってくる。
- ・核家族では家事の分担は当たり前。
- ・特にひとり親世帯では、子ども自身がやらなければならないと思込む。
- ・「よくがんばる子ども」といった美談ではすまされない、できる子どもばかりではない。地域の中でのつながりがベーシックとなり支えられたらいい。
- ・子どもたちはSNSで思いを発信している。親が寝静まり時間ができる夜中に多い。サポートセンターは昼間のみ開設、相談したいときにできない。活用しやすいサービスが必要。本人はヤングケアラーというレッテルを貼られたくない。おせっかいすぎても逆効果。
- ・ケアラー自身が成長段階で受け止められる時期がくる。その時どうケアできるかも課題。当たり前で行っていることについて言葉で定義づけることが難しい。言葉を定義づけることが目的ではない。
- ・ちょっとした気づきの変化につながる。助けてあげようとは思わず、気にかけるから始めてみるといい。

G

- ・グレーな人もいっぱいいるように感じた。
- ・このような世界があることを知れてよかった。解決に向けた支援は難しいと感じた。
- ・民生委員の立場からズカズカ家庭の事情に入っていけないが、気づけるかはスキルが必要。
- ・一人親、共働き世帯なども多いため、たくさんいると思う。
- ・デイサービスは帰りの出迎えに必ず誰かいないといけない。
- ・昔の核家族世帯なら他にも助けがあったのかもしれない。
- ・今回はヤングケアラーの話だが、他の問題とも密接につながりのある問題だと思う。
- ・家族介護が前提にあるというのは、昔から変わっていない。
- ・支援をしたい気持ちが先走ってしまうと難しくなる。
- ・子どもが帰宅する時間にデイサービスの送りの時間をぶつけていた。お金のある人は何とかなってしまうこともある。
- ・「介護」か「障がい」かの面からしか支援がない。「子ども」という支援も必要ではないか。
- ・隠れている問題を見つけることが民生委員の仕事だが、難しさを感じる。
- ・生活が厳しいから早く帰ってこれない。
- ・交代でケアを代わってあげる仕組みなどがあるといい。
- ・本来の子どもらしさが自分でもわからなくなっている。
- ・子どもは親の悪口を言わないから、現状を拾いにくい。
- ・近所であるほど言いにくい。一人っ子だと負担が分散されない。
- ・青少年指導で朝のあいさつや声かけをしていると心を開いてくれる。

## ヤングケアラーについて考える【研修会】アンケート結果

開催日 2024年(令和6年)3月3日(日)14:00~16:15  
 会場 辻堂市民センター 3階ホール  
 参加者数 42人  
 アンケート回収数 31枚 回収率 73.8%

### ■年代

	人数(人)	割合(%)
小学生以下	0	0
中学生~19歳	1	3
20歳代	0	0
30歳代	1	3.2
40歳代	3	9.7
50歳代	4	12.9
60歳代	16	51.6
70歳代	5	16.1
80歳以上	1	3
未記入	0	0

### ■職業

	人数(人)	割合(%)
学生	1	3.2
勤労者	11	35.5
無職	14	45.2
その他	5	16.1
未記入	0	0

### ■居住地

	人数(人)	割合(%)
辻堂地区内	26	83.9
辻堂地区外	5	16.1
未記入	0	0

### ■辻堂まちづくり会議をご存じですか

	人数(人)	割合(%)
知っている	24	77.4
知らなかった	7	22.6
未記入	0	0

### ■本日の公演の満足度を教えてください

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	17	54.8
満足	11	35.5
どちらともいえない	3	10
不満	0	0
非常に不満	0	0
未記入	0	0

### ■満足度の理由について

- ・ヤングケアラーについて改めてもっと知りたいと思えた。
- ・ヤングケアラー当事者を見つける事が出来ないのでは？
- ・身近な地域での実情や具体的にできることがわからなかったため、ヤングケアラーはどこにいるのか？
- ・難しさを知った。知ることができたことが良かった。
- ・理解の端緒になった。ことばは聞くことが多くはなったが、理解はまだ端緒。
- ・直接当事者の声をきくことができた。
- ・いろいろな話を聞けました。
- ・ヤングケアラーとふつうの親子関係、兄弟関係、近所づきあいの情報の大切さが分かりました。
- ・縦山さんの話し。
- ・グループの話し合いが充実してた。
- ・ヤングケアラーの意味を深めた。
- ・話に感動した。(縦山さんの実体験)
- ・ヤングケアラーをどう発見するか、見つけたらどうするかを知りたかった。

## ■感想

- ・縦山様のお話しの中で今でも罪悪感を感じているとの言葉に、ヤングケアラーだけでなくその方の人生に関わる問題と深く感じました。あたりまえに相談できる環境を作っていきたい。
- ・司会進行もよかったです。テーマについてよくわかりました。縦山さんがたいへんご苦労があったのに、明るい表情でお話し下さったことに感心しました。
- ・当事者の方のお話しをうかがうことができ、新たに多くのことに気づくことができました。ヤングケアラーの方々の支援には、その人の家庭への理解と支援が必要だと実感しました。ケアラーの人々と相談機関、支援機関との橋渡しができるような周囲の人々の見守りが大切だと感じました。本日はありがとうございました。
- ・県内、全国調査からヤングケアラーといわれる環境にいる子どもの割合の多さに驚きました。身近に知りませんが、本日の研修会で知った事でもし思いあたる人がいたら、どうしていくのがいい事かと考えるいいきっかけになりました。
- ・まずは気づきのアンテナが増えて良かったと思います。
- ・体験談は大変参考になった。子供の状態をもっと知ることが必要ではないか？大人目線が必要。
- ・実体験は強く伝わってきます。2部の振り返りは、とても良かったです。もう少し、じっくり考えてみようと思います。
- ・ケアラーを見きわめるのがむずかしいのに「信頼出来る大人が側にいる事」は出来るか？
- ・まだ実際に支援につながる策がなく、その間も苦しんでいる人がいると思うともどかしいと感じた。
- ・大変充実した内容でした！グループワークで元気をもらいました。
- ・印象深かったことは、「支援がほしいと思ったことはなかった」という事実、現実。隠したいと思う気持ち。こういう状況で地域がどのように気付けるか。子どもとの関係作り。
- ・子供で居られない環境、孤立。家族への介護を断れない厳しい状況。ヤングケアラーに見えないことがとても難しいことと知った。今後も聴く、見つける、気づく。
- ・ヤングケアラーさんの当事者さんの話(しかも若い方)をリアルに聞くことができよかったです。ケアラーとしての自覚がいつ生まれたのか、たぶん少しずつ深まっていくものだったと思った。
- ・あまり背のびせず、できることをやっていくことの重要性を再認識できた。
- ・ヤングケアラー自身が今の生活だけでなく将来の生活が成り立つように、自分自身の生活の支援が必要のように思います。自分がヤングケアラーだったことを何十年もたってから言えるようになったこと、改めて思いました。
- ・縦山さんに伝えたいことは、お母様が長期入院されて自由な時間が増えたことに罪悪感を感じているとおっしゃったことに悲しく思いました。縦山さんにもっともっと笑顔が増えるといいなと思います。
- ・話の中身がとても重かったですが、自分にも何か出来るのか？とアンテナを張る意識づけが出来ました。
- ・当事者のお話が聞けて良かったです。
- ・子供達が実は何とも思っていないところがあるのではないかと。人間関係、近所づきあいの変化と情報の収集が大切。
- ・いろいろ知らなかったことを聞かせてもらい、今後活かしていきたい。
- ・こんな世界があることを知れたことはとても良かった。ではどうすればいいのか？という事に関してよくわからないが、色々な人がこのことを知れたことが大切なのではないか。職場でなるべく見守り、このような人をみつけ話しをしていきたい。
- ・当事者の方の話を聞いたのが良かった。ヤングケアラーの方に気づけたとしてもどう手を差しのべたら良いか難しいと思った。まずは信頼関係をきづく事からはじめて、相談し易い間柄にまでなれたら良いのかなと思った。
- ・今日はありがとうございました。ヤングケアラーの方の話が聞けて、良かったです。
- ・子供の思い込み、家族を守りたいという思いが根底にあるということを改めて知った。まずは、できることから始めようと思う。
- ・生の体験を通じて、ヤングケアラーの現実を知った。自分の近所にヤングケアラーは知らないが、日々レーダーを張って若者を見ていきたい。
- ・このようなテーマ別の話し合い(ワーキング)が来年もできればいいと思います。
- ・グループでの話し合いはいろんな方面の方々の意見を聞かれて自分の中での消化(気持ちを)が出来た。今一番大切な事は見守って少しずつよりそっていくという場面ではないかと。
- ・まずは顔見知りになることがやはり大事であることを感じました。
- ・ヤングケアラーという言葉が最近になって聞きました。若いのによくがまんして非行にも走らず生きて来たと思えます。
- ・具体的な話がよかったです。
- ・縦山さんの実経験のお話しは特によかったです。

日時	2024年3月21日(木) 9:30 ~ 12:20
場所	辻堂市民センター 地区防災拠点本部室
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 久保田委員長 <input type="checkbox"/> 尾崎会長 <input checked="" type="checkbox"/> 小川副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 伊藤副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 秋山副会長
事務局	<input checked="" type="checkbox"/> 中丸主幹 <input checked="" type="checkbox"/> 松本 <input type="checkbox"/> 宮木
議題等	1 令和5年度広報委員会事業の確認 (1) 辻堂地区全体集会 開催結果HP掲載内容の確認について (2) シン辻堂カルタHP掲載内容の確認について (3) 令和6年度 社会貢献活動実習生の受入について (4) 2024年度広報委員会事業計画について 2 その他

## 議事録

## 1 令和5年度広報委員会事業の確認

## (1) 辻堂地区全体集会 開催結果HP掲載内容の確認について

- ・資料に沿って事務局から説明を行った。

## 【意見等】

- ・チームレスキューの動画については、漢字の修正などの手直し中で、3月中に完成予定である。完成後に事務局に連絡する。
- ・まちづくりだよりの全体集会の記事を、資料1の上にコピーする。
- ・アンケート結果を資料5として掲載する。

## (2) シン辻堂カルタHP掲載内容の確認について

- ・資料に沿って事務局からレイアウト説明を行った。
- この内容で掲載する。

## (3) 令和6年度 社会貢献活動実習生の受入について

- ・学生から受け入れ団体への評価も必要ではないか。
- ・令和6年度は、事前の告知も積極的にアップしていく。
- ・学生自身が事業を体験して、その思いもアップしてほしい。
- オリエンテーションの際に、概要説明資料を渡すようにする。その際に学生に「こうしてほしい」という意見があれば、後日LINEで事務局に連絡する。

## (4) 2024年度広報委員会事業計画について

## ●駅前掲示板の活用

- ・令和5年度の1年間で作成した装飾品を用いて、次年度もレイアウトしていく。
- ・久保田委員長から、令和6年度以降も装飾などの協力をしていただけるとお話しがあった。また、令和5年度に作成に関わってくれたメンバーについても、引き続き

装飾についてサポートしてくれるように久保田委員長から調整してもらうことになった。

- ・貼替の当番は、4月は装飾貼替不要（掲示物のみ事務局対応）で、5月は委員の所属が決まっていないため、会長と副会長で対応とする。それ以外は、R5に引き続き各部会で輪番対応とする。

#### ●辻堂発見！リポーター

- ・概ね令和5年度と同様のスケジュールで進めていく。オリエンテーションは5/11（土）になる見込みが高い。

#### ●全体集会

- ・まつりのアンケートは、聞く内容を絞った方がいいかもしれない。
- ・今年度と同じ開催時期（公民館まつりが11月、全体集会を2月）と仮定すると、チラシ配布が12月25日号広報に合わせたタイミングになるため、時間的に厳しい。→全体集会の内容は、まつりのアンケート結果から考えなければならない、というわけではない。
- ・（会議後）全体集会の意見をまとめた提言書を、次回全体会議で提示する。
- ・企画運営委員会を立ち上げる。5月全体会議時に各部会へ選出依頼、6月全体会議で各部会からメンバーの報告を行ってもらう。始動時期は未定で、開催日時は全体会議後とする。（各部会2名程度）

#### ●公民館まつり

- ・企画運営委員会を立ち上げる。5月全体会議時に各部会へ選出依頼、6月全体会議で各部会からメンバーの報告を行ってもらう。始動時期は6月からの想定で、開催は全体会議後とする。（各部会2名程度）

#### ●情報発信

- ・チラシが作成された時点で、所定のフォーマットに記載して広報委員会に依頼をかけるとフェイスブックへアップしてもらえ、といった仕組みを作ってはどうか。

#### ●まちづくり会議だより

- ・企画運営委員会を立ち上げる。5月全体会議時に各部会へ選出依頼、6月全体会議で各部会からメンバーの報告を行ってもらう。始動時期は10月頃の想定で、開催は全体会議後とする。（各部会2名程度）

#### ●辻堂プライド

- ・随時検討

●オンラインカフェ

- ・インターネットを活用した情報発信の欄に統合し、今後のやり方を考えていく。

2 その他

●令和6年度広報委員会の体制について

- ・全体に関わる話が多いので、会長、副会長、部会長、+ 希望者で構成する。

【今後の予定】

- 3月全体会議 3月28日(木) 13:30~/ホール
- 次回委員会 未定

以 上

## 「辻堂駅 駅前掲示板」作業分担スケジュール

日程		担当部会
4月1日	月	なし(3月と共通レイアウト)
5月1日	水	会長・副会長(所属部会未決定のため)
6月3日	月	辻堂交流部会
7月1日	月	福祉部会
8月1日	木	くらし安心・安全部会
9月2日	月	辻堂交流部会
10月1日	火	福祉部会
11月1日	金	くらし安心・安全部会
12月2日	月	辻堂交流部会
12月27日	金	福祉部会
2月3日	月	くらし安心・安全部会
3月3日	月	辻堂交流部会

※各部会2人で作業をお願いします。

※9:30に現場集合をお願いします。(15分程度の作業となります)

※掲出レイアウトを考案し、掲示物を貼っていただく作業となります。

※事務局が立ち会います。掲示するものは事務局が準備しますので、

特にお持ちいただくものはありません。

※状況により作業日時が変更となる場合があります。

## 「辻堂の道」の2月4日の全体集会での話し合いの成果を 来年のまちづくり会議の活動に生かすための提言

令和4年・5年度まちづくり会議 広報委員会

令和6年2月4日に開催された全体会議では「辻堂の道」をテーマに討議が行われました。令和5年10月の公民館まつりでまちづくり会議が出展したブースにおいて辻堂の良い点悪い点についてアンケートを取り、その解析に基づいて最も多く記述されていた辻堂の課題が道路、交通に関するものでした。

全体集会では辻堂の主たる課題は道路、交通問題であるとの認識に基づき、この課題の解決に向けた取り組みを主眼に置いて討議することを企画したものです。

討議の結果は既に報告されていますが、ここでは集会における討議をまちづくり会議が来年度の活動内容に生かすことを願って提言するものです。

### ① 検討課題の設定

初めに公民館まつりでの辻堂に対するアンケートを集計した結果最も大きな割合を占めた辻堂の課題は道路の狭い、渋滞、交通マナーなどの道路に関する課題でした。これら3つの課題をそれぞれ検討する小集団を集会で設定し、討議を行いました。

### ② 3つの課題に対する討議の概要

#### (ア) 道が狭いに関する話し合い

- ① 主要道路では昭和通りが指摘され、街区内の道路としては辻堂小学校の通学路が狭い道路の代表例として出された。
- ② 解決策として提案されたのは多様な案が出た。・道路を拡幅するための諸案・車両速度の低減を図るパンフ等の道路構造の提案・車両の一方通行等の利用の提案、道路の案内標識改善の提案・交通車両自体の低減手法の提案・狭く渋滞が激しい昭和通りから海浜公園通りへのバス路線等の変更の提案・歩道を確保する提案、更に東海道をまたぐ（くぐる）道路整備の提案・交通マナーの普及

#### (イ) 歩行者・自転車のマナーに関する話し合い

- ① 歩道における自転車の通行のルール無視、無灯火、歩車分離型交差点における自転車の交通規則無視などが指摘されている。
- ② 解決策として提案されたのは、大人のためのマナー講習、学校・家庭での交通マナー教育強化・自転車の交通規則違反に対する罰則の強化・警察による

取り締まりの強化・自転車と歩行者が通行できる道路での色による分離の明確化

(ウ) 渋滞についての話し合い

- ① テラスモールを要因とする渋滞への諸対応策の発案
  1. 専用バス、湘南藤沢徳洲会-SST バスのテラスでの停車、
  2. 渋滞状況カメラ、駐車料金の値上げ
- ② 辻堂駅周辺の渋滞への対応策の発案
  1. 県道30号線の通過交通対策としての高速道路の無料化
  2. 浜見山交差点の右折車線の設置、地下道信号の信号調整

③ 令和6年度のまちづくり会議における道路課題の検討項目の提言

(ア) 特定の分野にかかる検討というよりも道路にかかる道路計画、渋滞対策、交通規制、交通マナー教育等に広くとらえた検討の方向が必要である。

- ① 道路の新設、拡幅、片側だけでも歩道の整備、バンプの設置等道路構造にかかる施策
- ② 交通標識等、一方通行等に係る交通規制にかかる施策
- ③ 交通マナーの向上にかかる施策

(イ) 現在までのまちづくり会議で行ってきた活動のうち、この課題に関連する活動を一つの大きなテーマのもとに多面的に取り組むことが望ましい。

- ① 三者連携における通学路の安全確保
- ② 交通安全対策協議会の事業
- ③ 青少年育成協力会
- ④ 小中学校、同PTA
- ⑤ 地域商業施設（テラスモール、モールフィル）等

(ウ) 新たな体制で成果を得られることを目標とする

- ① 令和6年度から始まる新体制の任期2年の終了時期までに何らかの成果が目に見える形で出来るように当初から企画しておく。
- ② 本庁の関連各課を取り込んだ協議体制を構築して進める。
- ③ 地域生活道路総合改善計画事業の辻堂モデル事業計画といった、目的を明示した看板を掲げて取り組みを進める。

## 辻堂地区郷土づくり推進会議運営要領の一部改正について

### 1 改正の趣旨

本年4月1日の辻堂地区郷土づくり推進会議（以下「推進会議」という。）の委員改選に伴い、辻堂地区郷土づくり推進会議の組織に関する規定を整理する。

### 2 改正案

辻堂地区郷土づくり推進会議運営要領（以下「運営要領」という。）の一部を次のように改正する。

第4条 推進会議の人数「29人以内」を「30人程度」に改める。

附 則

この要領は、令和6年4月1日から施行する。

### 3 改正の趣旨

本年4月1日の推進会議の委員改選に伴い、運営要領第5条第1項の辻堂地区内に居住、在勤、在学又は地区で活動を行っている者で、委員選考委員会が選考した者（以下「公募委員」という。）の候補者の選考において、採点等に優劣がつけがたく、応募者のまちづくりに対する熱意を考慮し、選考委員会において協議した結果、応募人数12人全員を候補者とする決定を行ったことで、運営要領で規定している組織の人数を超えてしまい、運営要領の改正が必要となった。

そこで、今後、公募委員の候補者が募集人数を若干名超えた場合に速やかな対応ができるよう、運営要領で推進会議の円滑な運営ができる人数の上限を定める規定を改正することとする。

以 上

## 辻堂地区郷土づくり推進会議運営要領（案）

### （趣旨）

第1条 この要領は、藤沢市郷土(きょうど)づくり推進会議設置要綱（平成25年4月1日施行、以下「要綱」という。）の規定により設置された辻堂地区郷土(きょうど)づくり推進会議（以下「推進会議」という。）の運営について必要な事項を定めるものとする。

### （通称）

第2条 推進会議の通称は、「辻堂まちづくり会議」とする。

### （意見の集約）

第3条 推進会議は、要綱第3条第1号の意見の集約を行う場合には、次の各号に掲げるいずれかの方法により行うものとする。

- (1) 地区全体集会
- (2) アンケート
- (3) 前2項に掲げる方法の他、辻堂地区の実情に即し、推進会議が適当であると認める方法。

### （組織）

第4条 推進会議は、30人程度の委員で組織する。

### （委員）

第5条 委員は、次に掲げる者に該当する者とする。

- (1) 辻堂地区内に居住（この市の常勤の職員又は議員である者を除く。）、在勤、在学又は地区で活動を行っている者で、委員選考委員会が選考した者
- (2) 辻堂地区内において活動する別表に掲げる地域団体から推薦された者

### （委員の任期）

第6条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、2回に限り再任されることができる。ただし、推進会議が当該委員の意向を確認して、推進会議の推薦を受け、委員選考委員会が再任の必要を認めた者とする。

### （役員等）

第7条 藤沢市郷土づくり推進会議設置要綱第7条に定める議長及び副議長は、それぞれ会長及び副会長と読み替えるものとする。

2 推進会議に会長1人、副会長3人（以下「役員等」という。）を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 3 会長は、会務を総理し、推進会議を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ副会長のうちから会長が指名する者がその職務を代理する。

(会議)

第8条 推進会議は、次の各号に掲げる会議を開催する。

- (1) 全体会議
- (2) 部会

(会議の公開)

第9条 会議の公開及び傍聴等に関して必要な事項は、推進会議の決定に基づき市長が別に定める。

(議事録)

第10条 議事録は、推進会議の決定に基づき市長が別に定める期間公表するものとする。

(部会等)

第11条 推進会議には、部会を置くことができる。

- 2 部会は、委員及び推進会議に協力する者等のうちから推進会議が選任する者で構成する。
- 3 第1項に定める部会のほか広報委員会を置き、委員は第2項に定める部会の構成員の中から選任する。
- 4 部会等に部会長を置き、部会の構成員の互選によりこれを定める。
- 5 部会長は、部会の運営上必要があると認めるときは、部会の構成員以外の者を会議に出席させ、説明又は助言、資料の提出及びその他の協力を求めることができる。

(事務局)

第12条 推進会議の事務局は、辻堂市民センターとする。

(委員選考委員会)

第13条 市長は、現に委員である者の任期が満了する3月前までに、会長及び委員並びに委員以外の者のうちから推進会議が選任する者によって構成する委員選考委員会（以下「選考委員会」という。）を設置しなければならない。

- 2 前項に定めるもののほか、選考委員会、委員の募集及び選考に関して必要な事項は、推進会議の決定に基づき市長が別に定める。

(委任)

第14条 この要領に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、推進会議の決定に基づき市長が別に定める。

附 則

- 1 この要領は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この要領の規定により最初に委嘱される委員の任期は、第6条第1項本文の規定にかかわらず、委嘱の日から平成26年3月31日までとする。
- 3 この要領は、平成26年6月1日から施行する。
- 4 この要領は、平成29年12月22日から施行する。
- 5 この要領は、平成30年9月27日から施行する。
- 6 この要領は、令和元年12月19日から施行する。
- 7 この要領は、令和3年12月16日から施行する。
- 8 この要領は、令和5年12月21日から施行する。
- 9 この要領は、令和6年4月1日から施行する。

別表（第5条関係）

番号	地 域 団 体 の 名 称
1	辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会
2	辻堂地区社会福祉協議会
3	辻堂地区青少年育成協力会
4	辻堂地区交通安全対策協議会
5	辻堂地区生活環境協議会
6	辻堂地区防犯協会
7	辻堂地区防災協議会
8	辻堂東地区民生委員児童委員協議会
9	辻堂西地区民生委員児童委員協議会
10	辻堂公民館評議員会
11	高浜地域子ども支援会議
12	辻堂地区内社会体育振興協議会のうちの1団体
13	辻堂商店会連合会
14	辻堂地区老人クラブ連合会
15	ネットワーク湘南堂夢
16	辻堂東地区いきいきサポートセンター
17	辻堂西地区いきいきサポートセンター
18	藤沢市社会福祉協議会（辻堂地区CSW）
19	西南部障がい者地域相談支援センター

新旧対照表

新 (改正案)	旧 (現行)
<p>辻堂地区郷土づくり推進会議運営要領 (組織)</p> <p>第4条 推進会議は、<u>30人程度</u>の委員で組織する。</p> <p>附 則</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 この要領は、平成25年4月1日から施行する。</li> <li>2 この要領の規定により最初に委嘱される委員の任期は、第6条第1項本文の規定にかかわらず、委嘱の日から平成26年3月31日までとする。</li> <li>3 この要領は、平成26年6月1日から施行する。</li> <li>4 この要領は、平成29年12月22日から施行する。</li> <li>5 この要領は、平成30年9月27日から施行する。</li> <li>6 この要領は、令和元年12月19日から施行する。</li> <li>7 この要領は、令和3年12月16日から施行する。</li> <li>8 この要領は、令和5年12月21日から施行する。</li> <li>9 この要領は、<u>令和6年4月1日</u>から施行する。</li> </ol>	<p>辻堂地区郷土づくり推進会議運営要領 (組織)</p> <p>第4条 推進会議は、<u>29人以内</u>の委員で組織する。</p> <p>附 則</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 この要領は、平成25年4月1日から施行する。</li> <li>2 この要領の規定により最初に委嘱される委員の任期は、第6条第1項本文の規定にかかわらず、委嘱の日から平成26年3月31日までとする。</li> <li>3 この要領は、平成26年6月1日から施行する。</li> <li>4 この要領は、平成29年12月22日から施行する。</li> <li>5 この要領は、平成30年9月27日から施行する。</li> <li>6 この要領は、令和元年12月19日から施行する。</li> <li>7 この要領は、令和3年12月16日から施行する。</li> <li>8 この要領は、令和5年12月21日から施行する。</li> </ol>

令和6年度 辻堂交流部会事業予定表

区分	事業名	目的	令和5年度の予定(活動概要)	主担当(敬称略)	月												関係者	令和5年度実施		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
全体事業	まちづくり会議全体の動き	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>辻堂公民館まつり</li> <li>辻堂地区全体集会</li> <li>TSUJIDOギャラリーの活用</li> <li>ふるさとマップの更新</li> <li>辻の盆への出展</li> </ul>	全員	TSUJIDOギャラリーの活用: 他団体含め、新たな展示がないときに辻堂寫真館アーカイブ展示  ふるさとマップの更新: 各部会から担当者を集める実行委員会形式で記載内容やリリーススケジュール等を検討  辻の盆への出展: 実施日7月20,21日  辻堂公民館まつり: 実施予定日11月9、10日  辻堂地区全体集会: 実施予定日は未定												TSUJIDOギャラリーの活用:「辻堂寫真館」を実施 第8回:おかあさんといっしょ 辻堂:5月3日~6月30日 第9回:魔法のじゅうたん 辻堂:8月1日~9月28日 第10回:歴史への招待 辻堂 その1: 12月1日~1月31日 第11回:歴史への招待 辻堂 その2: 2月2日~3月31日  辻堂公民館まつり:10月28日、29日 年表による活動紹介及びアンケートによる意見聴取  辻堂地区全体集会:2月4日 第一部 まちづくり会議の取組 第二部 辻堂の道			
実施決定事業	辻堂朝市	地域への誇りや愛着が育むとともに、地産地消を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民センター</li> <li>→毎月第2・4木曜日に実施</li> <li>ココファンSST</li> <li>→毎月第3水曜日</li> </ul>		毎月実施												JAさがみ 堀川網 学研ココファンSST 落合さん(辻堂のお米農家)	【市民センター】 毎月第2・4木曜日に実施 【学研ココファンSST】 毎月第3水曜日に実施		
	みんなで美化キャンペーン(湘南ニコニコロード)	地区内の環境美化を進めるとともに、近隣の学生、地域住民が利用する、湘南ニコニコロード・ポケットパークの美化を推進することで愛着を育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>路面清掃</li> <li>除草・不要な枝の剪定</li> <li>花苗の植え付け</li> </ul>														辻堂地区生活環境協議会 高浜地域子ども支援会議 浜見小学校、高砂小学校、 高浜中学校、白浜養護学校、 湘南工科大学附属高校 自治会町内会	7/12実施 参加者40人 花植えなし 12/13実施 参加者37人 花植えあり		
	みんなで美化キャンペーン(ポケットパーク)																		7/15実施 参加者41人 花植えなし 12/17実施 参加者39人 花植えあり	
	辻堂歴史物語	辻堂地区に伝わる歴史講座の開催をすることにより、辻堂への愛着を高めていく	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師:歴史研究家の櫻井豊氏を講師</li> <li>令和2年度実施の続編として、大正時代、昭和(戦前)時代をテーマとした第4回の開催</li> <li>講演会終了後の次のテーマ(史跡、お寺めぐりなど)を検討する</li> </ul>			企画											歴史研究家 櫻井氏	未実施		
	辻堂さんぼ	個人で気軽に外出し、健康の維持・増進を図るとともに、地域を再認識してもらおう	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーン回廊のチェックポイントを巡る</li> <li>個人参加型のウォーキング事業</li> </ul>														協賛 景品 クイズ チラシ  協賛 景品 クイズ チラシ  景品 クイズ チラシ	高浜地域子ども支援会議 ネットワーク湘南堂夢 辻堂地区商店会連合会 健康づくり課 いきいきサポートセンター つむぎ 青少年会館	春:4月20日(木)~5月22日(月) 参加賞972人 完歩賞829人 秋:11月20日(月)~12月20日 参加賞830人 完歩賞629人	
	ミニさんぼ(仮称)	各回テーマ(SDGs学習、健康の維持・増進、障がいの理解等)とともに地域を再認識してもらおう	<ul style="list-style-type: none"> <li>小グループでのウォーキング事業</li> <li>福祉部会と共同開催</li> </ul>					企画	企画	企画								高砂小学校5年生PTA 長久保公園 辻堂海浜公園	高砂小学校5年生湘南SDGsウォーク: 11月25日 参加者94人 辻堂海浜公園さんぼ:12月13日 参加者37人 長久保公園さんぼ:12月11日 参加者27人 障がいの理解さんぼ:11月20日 参加者29人	
	辻堂ストリートギャラリープロジェクト	辻堂を文化の香るまちにすることで、辻堂への愛着を高めていく	<ul style="list-style-type: none"> <li>湘南工科大学と連携し、湘南ニコニコロードに市民参加型のフラッグ(のぼり旗)を使ったアート作品の展示</li> <li>その他アート展示企画の検討</li> </ul>															顔合わせ 企画 撮影 公募 選考 加工 製作 依頼	実施(11/5~12/5)	(第4回)高砂小学校6年生 湘南工科大学
八松小ウォークラリー	辻堂地区に伝わる歴史を子どもたちに伝えることにより、辻堂への愛着を高めていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>八松小学校3年生の歴史学習で、史跡等を説明</li> </ul>														学校と調整 学校と調整	実施	八松小学校	3月5日 天王山や諏訪神社、道祖神等を説明	
実施検討事業	辻堂の海を守ろう!	子どもたちが楽しみながらSDGsの視点や、海洋プラスチック問題を学べる機会をつくり、辻堂の未来を担う子どもたちに郷土愛を育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施企画の検討</li> </ul>															生活環境協議会 高浜地域子ども支援会議 ネットワーク湘南堂夢	<ul style="list-style-type: none"> <li>SUPでSDGs体験 開催日:6月10日 ※雨天で6月3日から延期 参加者:31人</li> <li>映画「マイクロプラスチックストーリー」上映会 ・オンライン開催 開催日:11月6日~11月12日 参加者:28人</li> <li>市民センター開催 開催日:11月12日 参加者:43人</li> <li>高砂小学校開催 開催日:11月20日 参加者:325人</li> <li>浜見小学校開催 開催日:12月5日 参加者:61人</li> <li>SDGsキーホルダーとカラビナに誓いを込めて 開催日:12月10日 参加者:51人 ※保護者30人、スタッフ35人 計106人</li> </ul>	
	子ども回覧板	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども向けイベント情報の集約と伝達</li> <li>回覧板の役目と伝承</li> <li>豆記者を通じて辻堂への愛着を高めていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの目的をもって事業を行っていくのか、企画内容の検討</li> </ul>																過去の実施内容を振り返りながら、内在するテーマの整理を行った。	



# ～駅前掲示板特集～



コロナ禍をくぐり抜け、もはや情報発信はSNSが主流に。まちづくり会議・広報委員会も、さまざまなイベントのお知らせ、活動報告をFacebookで、発信しています。

それと同時に、地域ならではのアナログ発信もしています。辻堂駅コンコースの掲示板（2012年設置）をご覧ください。毎月1回、季節の移り変わりを表す装飾とともに、この地区ならではの回覧板、町内会で配られる配布チラシを掲示しています。

春の「桜」、夏の「七夕」、秋の「落ち葉の森」、冬の「クリスマス」そしてお正月「辻堂の初日の出」などなど。また、新たな試みとして、毎年参加している「公民館まつり」の、単体PRもしました。待ち合わせに、通勤、通学の折に、辻堂の風を感じていただければ幸いです！



## 会長あいさつ「一人ひとりが辻堂プライド」

辻堂には何がありますか？海ですか？公園ですか？辻堂の暮らしには、あと何があれば良いですか？暮らしやすさがあれば、暮らしにくいもあります。好きがあれば、嫌いもあるものです。辻堂は本当に良いところですか？それは何故でしょうか？どうして良いところだと思いますか？改善の必要は何一つありませんか？本当は良いところばかりではありません。

『不便があるから考える』それが辻堂まちづくり会議。

辻堂まちづくり会議会長 尾崎文彦

## 辻堂まちづくり会議 Facebookのお知らせ

「辻堂まちづくり会議」って何？ Facebookを覗いてみてください！辻堂愛にあふれた、まちづくりの最新で、詳しい情報をアップしています。 fj-tsuji-c@city.fujisawa.lg.jp



2次元コードを読み込んでフォローをお願いします。

辻堂プライド 辻堂まちづくり会議 <https://m.facebook.com/tsujidou.pride>

## ◆辻堂まちづくり会議委員(敬称略)◆ (任期：2022年4月1日～2024年3月31日)

- |                            |                           |                         |
|----------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 赤塚 商蔵 (辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会) | 山田 泰司 (辻堂地区社会福祉協議会)       | 齋間 道雄 (辻堂地区青少年育成協力会)    |
| 和田 今日子 (辻堂地区交通安全対策協議会)     | 吉田 紀行 (辻堂地区生活環境協議会)       | 橋本 美知子 (辻堂地区防犯協会)       |
| 小川 雄二郎 (辻堂地区防災協議会)         | 近藤 眞由美 (辻堂東地区民生委員児童委員協議会) | 秋葉 誠 (辻堂西地区民生委員児童委員協議会) |
| 伊藤 和子 (辻堂公民館評議員会)          | 鷹野 三枝子 (高浜地域子ども支援会議)      | 大橋 洲二 (浜見地区社会体育振興協議会)   |
| 中野 由紀子 (辻堂商店会連合会)          | 片桐 賢 (辻堂地区老人クラブ連合会)       | 松尾 良子 (ネットワーク湘南堂夢)      |
| 黒川 康弘 (辻堂東地区いきいきサポートセンター)  | 高野 拓弥 (辻堂西地区いきいきサポートセンター) | 村上 純子 (辻堂地区ボランティアセンター)  |
| 山下 美波 (西南部障がい者地域相談支援センター)  | 吉田 秀樹 (公募委員)              | 尾崎 文彦 (公募委員)            |
| 秋山 正行 (公募委員)               | 久保田 恵 (公募委員)              | 池本 茂男 (公募委員)            |
| 堀川 輝夫 (公募委員)               | 千葉 郁世 (公募委員)              | 鶴田 智博 (公募委員)            |
| 芳山 久美子 (公募委員)              |                           |                         |

辻堂まちづくり会議の情報は、ホームページ「辻堂ドットコム」でもご覧いただけます。

ホームページアドレス <https://chiiki-bosai.jp/hp/p00332>

辻堂ドットコム

検索



# 辻堂 vol.14

## まちづくり会議だより

辻堂まちづくり会議は、まちの声を大切に一緒に「辻堂のこれから」を考えます。

より安心して安全に暮らせるまちをめざします

人と人のふれあいを大切に笑顔あふれるまちをめざします

地域で支えあえるまちをめざします

みなさんの声を「聴く」そしてその声をまちづくりに生かしていくために、私たちまちづくり会議委員はさまざまな活動をおこなっています。

## 辻堂地区全体集会

2024年2月4日(日)開催  
・第1部：辻堂まちづくり会議の取り組み発表  
・第2部：辻堂の道(話し合い)  
・参加者：64人

地区全体集会在、「辻堂の道」をテーマに辻堂市民センターで開催されました。参加者は辻堂在住の方、辻堂に関心をお持ちの方、まちづくり会議委員も含めて総勢64人となりました。



この集会の目的は、辻堂の持つ課題を取り上げ、その解決の方策を検討することにあります。そこで出された意見や方策を踏まえて、辻堂まちづくり会議の来年度の活動を構築してまいります。

会場にはこれまでのまちづくり会議の活動内容を展示し、役員が説明するポスターセッションの時間を持ち、また湘南工科大学の社会貢献活動授業の実習として取り組まれた「辻堂発見!!リポーター」、「子どもの防災学習:チームレスキュー」の二つの報告がありました。

辻堂の課題として「辻堂の道」を取り上げ、「道路が狭い」、「道路が渋滞」、「歩行者・自転車のマナー」に分かれて、課題と解決方策を参加者全員でグループごとに話し合いました。明日にも出来るようなことから長期に腰を据えて取り組まなければならないことまで、本当にさまざまな解決方法が提案され、発表されました。

これらを聞いて尾崎会長から、「公民館まつりで「辻堂の良いところ、悪いところ」のアンケートを行い、その結果に基づいて課題を設定して皆で解決策を話し合った。この結果を来年度のまちづくり会議の活動に取り入れて、課題の解決に取り組んでいきたい」と感謝の意が表されました。詳細はホームページをご覧ください。



# 3つの部会の一押し事業をご紹介します

## 交流部会 一押し! 事業

### SDGs 海の豊かさを守ろう～辻堂の海を守ろう～

交流部会では、SDGs 目標の1つ「海の豊かさを守ろう」を子どもたちに楽しみながら学び、取り組んでもらうため、「辻堂の海を守ろう」と題してシリーズ企画を実施しました。

第1回「SUPでSDGs体験」は、ウォータースポーツであるSUP（サップ=Stand UpPaddle）を楽しみながら、水上でのゴミ拾いを体験してもらいました。

第2回は、アメリカのドキュメンタリー映画「マイクロプラスチックストーリー～ぼくらのつくる2050年～」の上映会を開催しました。辻堂地域の小学校や市民センター、オンラインで複数回上映し、延べ457の方に鑑賞していただきました。

第3回「SDGs キーホルダーとカラビナに誓いを込めて」では、辻堂の海岸でクリーン活動をしている方々と一緒にビーチクリーンをして、そこで拾ったマイクロプラスチックで、誓いのキーホルダーやカ

ラビナを作りました。

どのイベントも、まちづくりスタッフが手作りの紙芝居を使い、地元の企業/団体にご協力いただき、好評でした。



## 福祉部会 一押し! 事業

### 障がいの理解～防災を通して考える～

福祉部会では障がいのある方の防災・避難行動時の配慮について当事者のニーズを知り、災害時の具体的な配慮や支援について知る取り組みを行っています。

今年度は、まちづくり会議のメンバーの他、地域の防災協議会や辻堂地区社会福祉協議会の方にもご参加・ご協力いただき、皆と一緒に避難時に使用するスロープを歩きました。また、市民センター内や防災倉庫の見学や、災害時に活用できる簡易パーテーションやベッド、災害時用のトイレなども体験することができました。目に見えづらい困難さがあることや、支援や関わりの工夫で安心できるということと一緒に活動することで共有し、お互いの理解が少しでも深まっていたら嬉しいです。

福祉部会では当事者に寄り添い、お話を伺いながらこれからも誰もが楽しく安心して過ごせるまちを目指して活動していきます。



## 辻堂まちづくり会議とは

藤沢市内13地区にある地域住民が主体となって活動する会議体のひとつで、正式には「辻堂地区郷土づくり推進会議」という名称ですが、私たちは親しみを込めて「辻堂まちづくり会議」と呼んでいます。

辻堂地区では、自治会、福祉、防災、防犯などの地域団体から推薦された19人と、公募による9人の合計28人の委員で活動しています。

辻堂に暮らす人たちが、より安心安全に暮らせるまちをめざして、人と人とのふれあいを大切に、まちの



さまざまな課題に取り組んでいます。みなさまのご参加、ご意見をお待ちしています。

## くらし安心・安全部会 一押し! 事業

### ～交通事故の防止に取りくむ～

2017年から2022年の6年間に辻堂地区内でおきた対人（車対人・バイク対人・自転車対人）の交通事故マップを作成し地区内の各自治会町内会や学校等に配布しました。

また、自転車のマナーアップ研修会も行いました。



#### 【自転車安全利用五則】

- ①車道が原則、左側を通行  
歩道は例外、歩行者を優先
- ②交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③夜間はライトを点灯
- ④飲酒運転は禁止
- ⑤ヘルメットを着用

**知って守ろう!!**

## 令和5年度事業一覧

- 湘南工科大学社会貢献活動（学生の實習受入れ）
- 辻堂朝市
- みんなで美化キャンペーン
- 辻堂さんぽ
- 辻堂ミニさんぽ
- 辻堂ストリートギャラリートプロジェクト
- 湘南工科大学授業参加協力
- 辻堂寫真館
- 辻堂の海を守るう
- ※交流部会一押し事業の記事を参照
- 八松小学校歴史学習への協力
- 白浜養護学校 展示・即売会協力
- 世代間交流事業
- 障がいの理解～防災を通して考える～
- サステイナブルなまちの未来をひらく
- 夏休み特別福祉企画3部作
- さんわーくかぐや映画
- 絵ほん語り公演
- 認知症フレンドリーキッズ授業
- ヤングケアラーについて考える研修会
- 小学生の防災学習 チームレスキュー
- 防災講演会
- 津波避難体験
- 個別避難計画モデル事業
- 子どもへの防災教育事業
- 子どもの見守り事業
- 公共交通導入計画
- 辻堂地区交通事故マップの作成・配布
- 藤沢厚木線の整備についての意見交換会
- 交通安全運動街頭キャンペーン参加
- 自転車マナーアップ研修会

ご協力いただいた皆様  
ありがとうございました。



令和4年度～令和5年度

辻堂まちづくり会議

実績報告書



令和4,5年度 辻堂まちづくり会議 委員名簿

No.	区分	氏名(敬称略)	団体名又は公募
1	団体推薦委員	赤塚 商蔵	辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会
2	団体推薦委員	山田 泰司	辻堂地区社会福祉協議会
3	団体推薦委員	齋間 道雄	辻堂地区青少年育成協力会
4	団体推薦委員	和田 今日子	辻堂地区交通安全対策協議会
5	団体推薦委員	吉田 紀行	辻堂地区生活環境協議会
6	団体推薦委員	橋本 美知子	辻堂地区防犯協会
7	団体推薦委員	小川 雄二郎	辻堂地区防災協議会
8	団体推薦委員	近藤 真由美	辻堂東地区民生委員児童委員協議会
9	団体推薦委員	秋葉 誠	辻堂西地区民生委員児童委員協議会
10	団体推薦委員	伊藤 和子	辻堂公民館評議員会
11	団体推薦委員	鷹野 三枝子	高浜地域子ども支援会議
12	団体推薦委員	大橋 洲二	浜見地区社会体育振興協議会
13	団体推薦委員	中野 由紀子	辻堂商店会連合会
14	団体推薦委員	片桐 賢	辻堂地区老人クラブ連合会
15	団体推薦委員	松尾 良子	ネットワーク湘南堂夢
16	団体推薦委員	富田 直樹	辻堂東地区いきいきサポートセンター(令和5年7月まで)
		黒川 康弘	辻堂東地区いきいきサポートセンター(令和5年8月から)
17	団体推薦委員	高野 拓弥	辻堂西地区いきいきサポートセンター
18	団体推薦委員	北野 範之	辻堂地区ボランティアセンター(令和4年度)
		村上 純子	辻堂地区ボランティアセンター(令和5年度)
19	団体推薦委員	山下 美波	西南部障がい者地域相談支援センター
20	公募委員	吉田 秀樹	公募委員
21	公募委員	尾崎 文彦	公募委員
22	公募委員	秋山 正行	公募委員
23	公募委員	久保田 恵	公募委員
24	公募委員	池本 茂男	公募委員
25	公募委員	堀川 輝夫	公募委員
26	公募委員	千葉 郁世	公募委員
27	公募委員	鶴田 智博	公募委員
28	公募委員	芳山 久美子	公募委員

## 辻堂まちづくり会議実績報告書 目次

全体会議	・・・	P.3～
くらし安心・安全部会	・・・	P.5～
交流部会	・・・	P.13～
福祉部会	・・・	P.25～
広報委員会	・・・	P.31～

# 辻堂まちづくり会議全体会議 活動実績

## 1 会議開催

令和4年度			令和5年度		
第1回	4月28日	(木)	第1回	4月27日	(木)
第2回	5月26日	(木)	第2回	5月25日	(木)
第3回	6月23日	(木)	第3回	6月22日	(木)
第4回	7月21日	(木)	第4回	7月20日	(木)
第5回	8月25日	(木)	第5回	8月24日	(木)
第6回	9月22日	(木)	第6回	9月21日	(木)
第7回	10月20日	(木)	第7回	10月19日	(木)
第8回	11月24日	(木)	第8回	11月16日	(木)
第9回	12月15日	(木)	第9回	12月21日	(木)
第10回	1月26日	(木)	第10回	1月25日	(木)
第11回	2月16日	(木)	第11回	2月22日	(木)
第12回	3月23日	(木)	第12回	3月28日	(木)

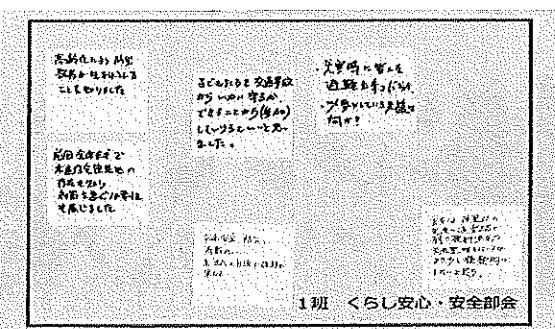
## 2 運営体制

これまで、辻堂地区協議体という会議体にて、藤沢市、市社協、辻堂地区自治連、辻堂地区東西民児協、辻堂地区社協、辻堂地区老人クラブ、辻堂東西包括支援センターの委員が、辻堂地区の福祉健康について議論を重ね、取組を進めてきた。令和2年度から新たに三者連携の湘洋中学区（ネットワーク湘南堂夢）のほか、辻堂東西包括支援センター及び辻堂地区ボランティアセンターが辻堂まちづくり会議に加わったことから、その協議体を継承する形で福祉部会を立ち上げ、辻堂地区の福祉健康について取組を進めることとなった。そのため、これまでくらし安心・安全部会において取り組んでいた福祉健康に関する事業を福祉部会に移管した。

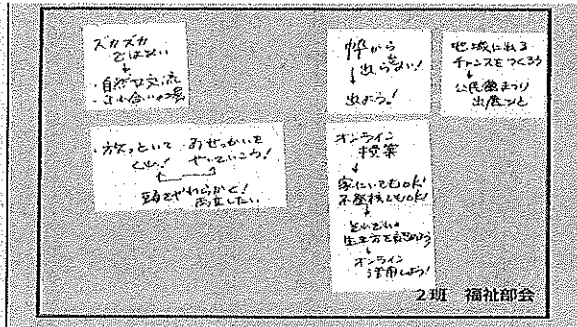
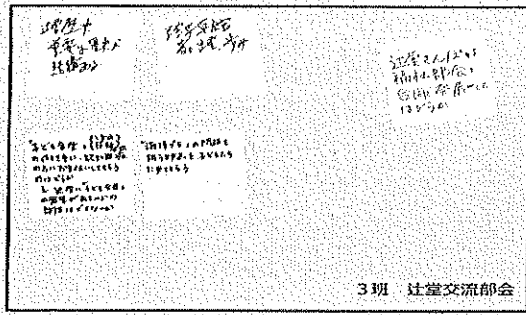
これにより、令和2年度からはくらし安心・安全部会・辻堂交流部会・福祉部会・広報委員会の4つの部会等を設置し活動した。

## 3 任期当初（令和4年5～7月）のグループディスカッション

任期始めのため、部会報告を聞いた後、グループごとにその部会の活動について意見等を出し合った。その意見を次の部会に持ち帰り、活動に取り入れるなど検討し、今期の事業を確定した。



↑グループ内で出た意見を付箋に書き、  
これを部会に持ち帰って検討した

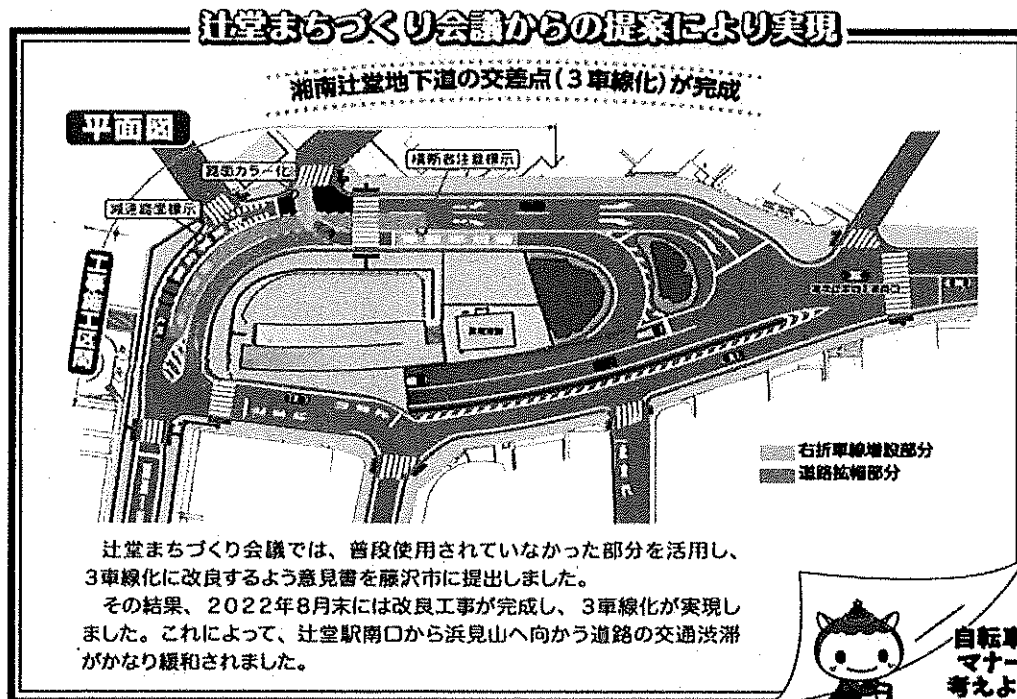


#### 4 湘南辻堂地下道の交差点の3車線化が実現

令和2年2月に辻堂まちづくり会議が中心となり、市に辻堂地区の交通問題についての意見書を提出した。

意見としては、辻堂駅南部から湘南地下道方面へ進む生活道路の渋滞がひどく、東町交差点に行く車や、浜見山交差点方面へ南下する車が渋滞に巻き込まれてしまうため、普段使用されていない部分を活用しながら湘南地下道の一部を改修し、車線を一つ増やすことで渋滞の緩和が見込まれるのではというもので、市の担当課である道路整備課と協議を重ねた。

結果、令和4年8月末に改良工事が完成し、3車線化が実現した。これにより、辻堂駅南口から浜見山へ向かう道路の交通渋滞の緩和が図られた。



#### 5 委員と市長との意見交換

令和4年度は第1回全体会議の委嘱式にあわせて、令和5年度は第1回全体会議に合わせて実施した。市長から施政方針等についての説明があり、その後、市長、副市長等と意見交換を行った。

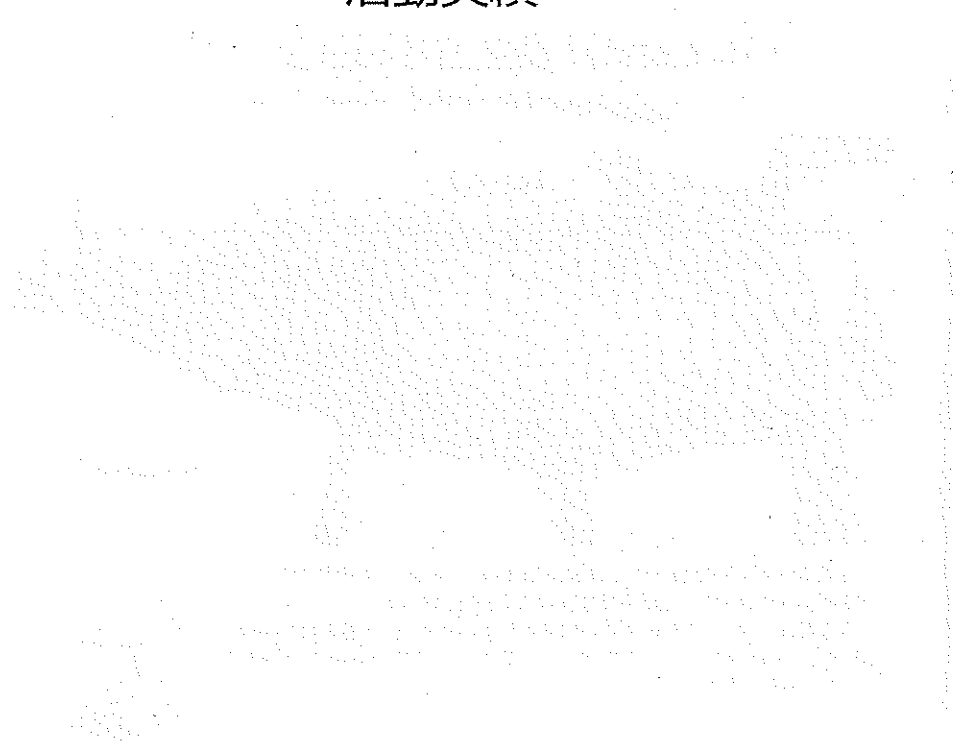
以上

令和4年度～令和5年度

辻堂まちづくり会議

(くらし安心・安全部会)

活動実績



令和4,5年度 辻堂まちづくり会議 くらし安心・安全部会 委員名簿

No.	区分	氏名 (敬称略)	団体名又は公募
1	団体推薦委員	赤塚 商蔵	辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会
2	団体推薦委員	山田 泰司	辻堂地区社会福祉協議会
3	団体推薦委員	齋間 道雄	辻堂地区青少年育成協力会
4	団体推薦委員	橋本 美知子	辻堂地区防犯協会
5	団体推薦委員	小川 雄二郎	辻堂地区防災協議会
6	団体推薦委員	秋葉 誠	辻堂西地区民生委員児童委員協議会
7	団体推薦委員	鷹野 三枝子	高浜地域子ども支援会議

## 1 会議開催

令和4年度			令和5年度		
第1回	5月12日	(木)	第1回	4月13日	(木)
第2回	6月7日	(火)	第2回	5月11日	(木)
第3回	7月14日	(木)	第3回	6月8日	(木)
第4回	8月18日	(木)	第4回	7月13日	(木)
第5回	9月8日	(木)	第5回	8月10日	(木)
第6回	10月6日	(木)	第6回	9月14日	(木)
第7回	11月10日	(木)	第7回	10月12日	(木)
第8回	12月8日	(木)	第8回	11月9日	(木)
第9回	1月12日	(木)	第9回	12月14日	(木)
第10回	2月9日	(木)	第10回	1月11日	(木)
第11回	3月9日	(木)	第11回	2月8日	(木)
			第12回	3月14日	(木)

## 2 事業報告

### (1) マナーアップ啓発活動

#### 【事業要旨】

自転車・ペット・ごみ等の生活マナーの啓発については地域団体によりチラシの配布、キャンペーンの実施等を行っているが、それらの個別的な取組から、地区が一体となって総合的な取組を実施することにより、地域住民や来訪者（観光客）のマナーの向上を図り、地域の生活環境の向上を図った。

#### 【令和4年度実施内容】

ア 交通安全運動街頭キャンペーンへの参加（辻堂地区交通安全対策協議会と共催）

春・夏・秋・年末の各季の交通安全運動周知啓発のため、JR辻堂駅の駅前広場において、街頭キャンペーンを実施した。

イ 自転車マナーアップ運動（辻堂地区交通安全対策協議会と共催）

辻堂駅前商店街は西から東への一方通行となっており、自転車通行可の補助標識もついていないことから、東から西へ向かう場合、自転車は降りて通行しなければならない。しかし、乗ったまま通行する人が多いことから、令和4年度に辻堂駅南口周辺の自転車通行可否を記載したチラシを作成し、令和5年度には、注意喚起のキャンペーンを実施した。

ウ 自転車マナーアップ研修会の開催（辻堂地区交通安全対策協議会と共催）

自転車運転マナーの改善への取り組みとして、自転車の通行に関し、地域の道路に関し、藤沢警察署署員から正しい自転車の乗り方の研修会を開催した。

【令和5年度実施内容】

ア 交通安全運動街頭キャンペーンへの参加（辻堂地区交通安全対策協議会と共催）

春・夏・秋・年末の各季の交通安全運動周知啓発のため、JR辻堂駅の駅前広場において、街頭キャンペーンを実施した。

イ 自転車マナーアップ運動（辻堂地区交通安全対策協議会と共催）

自転車のマナーアップ運動の周知を図るため、なぎさモール辻堂にて自転車マナーアップ街頭キャンペーンを実施した。

ウ 自転車マナーアップ研修会の開催（辻堂地区交通安全対策協議会と共催）

自転車運転マナーの改善への取り組みとして、自転車の通行に関し、地域の道路に関し、藤沢警察署署員から正しい自転車の乗り方の研修会を開催した。

(2) 防災対策の推進

【事業要旨】

災害に対する正しい知識情報の発信を目的とした防災講演会や津波避難体験等を実施し、地域における防災意識や防災力向上につなげた。

ア 津波避難体験（辻堂地区防災協議会と共催）

【令和4・5年度実施内容】

5月のゴミゼログリーンキャンペーン後に実施。令和4年度は、ゴミゼログリーンキャンペーン東西会場からともに、新しく津波避難ビルに指定された辻堂市民センターを目標に避難訓練を実施した。令和5年度は、西会場は、辻堂市民センターへ、東会場は、メディカルビルを避難目標に実施した。



## イ 防災講演会

津波浸水地域でもある辻堂地区の防災意識の向上を図るため、辻堂地区防災協議会及び辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会と共催という形で、防災講演会を復活した。

なお、開催にあたっては、会場参加とオンライン参加の同時開催とした。

### 【令和4年度実施内容】

開催内容	
実施日	2月25日(土)
題名	富士山はいつ噴火するのか？
講師	神奈川県温泉地学研究所 主任研究員 萬年一剛 氏
参加者	会場参加 97人(内、まちづくり会議委員等関係者12人) オンライン参加 50人 計 147人(内、まちづくり会議委員等関係者12人)

### 【令和5年度実施内容】

開催内容	
実施日	3月2日(土)
題名	誰一人取り残さない防災を目指して
講師	同志社大学社会学部教授 立木茂雄 氏
参加者	会場参加 86人(内、まちづくり会議委員等関係者13人) オンライン参加 23人 計 109人(内、まちづくり会議委員等関係者13人)

## (3) 子どもの安心・安全に向けた取り組み

### 【事業要旨】

学校・家庭・地域団体等において、それぞれ子どもの見守り活動を実施しているが、それぞれが個別に活動しており、情報の共有が図れていないことから、子ども見守り活動意見交換会の実施や、子どもへの防災知識の普及事業などの取り組みを実施した。

## ア 子どもの見守り事業

### 【令和5年度実施内容】

#### (ア) 子ども見守り活動意見交換会の実施。

日にち 2024年2月1日(木) 午前10時から

参加者 33人(小中学校及び各種諸団体21人・まちづくり会議委員8人・事務局4人)

※実施にあたっては、事前に学校及び各種諸団体にアンケート調査を実施した。

(イ) 子ども見守り活動啓発プレートの作成及び配布

子ども見守り活動実施集のプレート2種類作成し、辻堂地区内の自治会町内会に  
掲示の依頼をするとともに配布した。

# 子ども見守り活動 実施中

地域にお住いの皆さんで犬の散歩・お買い物や  
庭の水やり等を子どもたちの下校時間に併せるなど、  
より多くの目で子どもたちを見守っていきましょう！！

## 地域の目で子どもを守る!!

辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会、辻堂まちづくり会議

# 子ども見守り活動実施中



## 守ろう！子どもの安全！！

地域にお住いの皆さんで犬の散歩・お買い物や  
庭の水やり等を子どもたちの下校時間に併せるなど、  
より多くの目で子どもたちを見守っていきましょう

辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会、辻堂まちづくり会議

イ 子どもへの防災教育事業

【令和4・5年度実施内容】

辻堂青少年会館主催のチームレスキューに協力し、毎回10～11人ほどの子どもたち  
に対して、次のとおり教育講座を開催した。なお、令和3年度からは、湘南工科大学の社会  
貢献活動実習生も参加し実施した。



令和4年度	実施日	実施内容
第1回	5/28 (土)	オリエンテーション (防災協 小川会長のお話)
第2回	6/25 (土)	神奈川県総合防災センター見学
第3回	7/23 (土)	辻堂地区の防災拠点・消防署見学
第4回	8/27 (土)	辻堂まち歩き
第5回	9/10・11 (土日)	避難初体験 防災地図作り
第6回	10/23 (日)	総合防災訓練について
第7回	11/27 (日)	辻堂地区総合防災訓練に参加
第8回	12/11 (日)	ふり返し、修了証の授与

令和3年度	実施日	実施内容
第1回	5/20 (土)	オリエンテーション (防災協小川会長のお話)
第2回	6/24 (土)	神奈川県総合防災センター見学
第3回	7/25 (土)	辻堂地区の防災拠点・消防署見学
第4回	8/26 (土)	辻堂まち歩き
第5回	9/23、24 (土日)	避難初体験 防災地図作り
第6回	11/3 (金・祝)	総合防災訓練について
第7回	11/26 (日)	辻堂地区総合防災訓練
第8回	12/23 (土)	ふり返し、修了証の授与

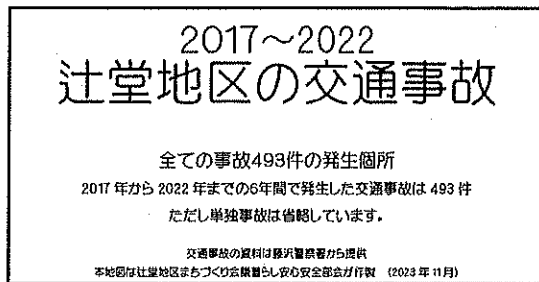
#### (4) 辻堂地区交通問題事業

##### 【令和4年度実施内容】

道路施策として、各自治会町内会で凸凹になっている道路の補修を依頼するにあたり、藤沢市が実施しているライン通報システムにより簡単に素早く市に報告できるシステムを地域住民に周知するとともに実際に地区内を歩きラインにて通報実験を行った。

##### 【令和5年度実施内容】

辻堂地区内の交通安全の啓蒙啓発事業として、地区内で起きた交通事故発生箇所等の情報を警察署から入手し、電子化するとともにグーグルの機能を利用し、交通事故マップを作成し、地区内の小中高の学校や自治会町内会及び幼稚園保育園に配布した。



(5) 地区内学校との連携

【事業要旨】

地区内学校の授業協力やまちづくり会議へ湘南工科大の学生の受け入れを行った。

【令和4年度実施内容】

辻堂小学校の授業協力

辻堂小学校3年生の社会科の授業の一環として、学区内の安全マップ作りに2日間にわたり協力した。

【令和4・5年度実施内容】

湘南工科大学の社会貢献活動実習生の受け入れ

防災事業のチームレスキューに参加し、活動内容を令和4・5年度辻堂まちづくり会議全体集会にて発表した。また、令和5年度では、活動内容を動画により編集し発表を行った。

以上

令和4年度～令和5年度

辻堂まちづくり会議

(辻堂交流部会)

活動実績

令和4,5年度 辻堂まちづくり会議 交流部会 委員名簿

No.	区分	氏名(敬称略)	団体名又は公募
1	団体推薦委員	和田 今日子	辻堂地区交通安全対策協議会
2	団体推薦委員	吉田 紀行	辻堂地区生活環境協議会
3	団体推薦委員	中野 由紀子	辻堂商店会連合会
4	団体推薦委員	片桐 賢	辻堂地区老人クラブ連合会
5	公募委員	吉田 秀樹	公募委員
6	公募委員	秋山 正行	公募委員
7	公募委員	久保田 恵	公募委員
8	公募委員	堀川 輝夫	公募委員
9	公募委員	千葉 郁世	公募委員
10	公募委員	鶴田 智博	公募委員
11	公募委員	芳山 久美子	公募委員

## 1 会議開催

令和4年度			令和5年度		
第1回	5月19日	(木)	第1回	4月13日	(木)
第2回	6月9日	(木)	第2回	5月11日	(木)
第3回	7月7日	(木)	第3回	6月8日	(木)
第4回	8月4日	(木)	第4回	7月6日	(木)
第5回	9月8日	(木)	第5回	8月10日	(木)
第6回	10月6日	(木)	第6回	9月7日	(木)
第7回	11月10日	(木)	第7回	10月5日	(木)
第8回	12月1日	(木)	第8回	11月2日	(木)
第9回	1月12日	(木)	第9回	12月7日	(木)
第10回	2月2日	(木)	第10回	1月11日	(木)
第11回	3月9日	(木)	第11回	2月8日	(木)
			第12回	3月14日	(木)

## 2 事業報告

### (1) 辻堂朝市

#### 【事業要旨】

地産地消を図ることで地域への誇りや愛着が育まれるよう、「辻堂朝市」を実施した。  
今期より辻堂のお米農家も出店に加わり、内容が充実した。

#### 【令和4年度実施内容】

辻堂朝市を24回実施。(月2回実施)

利用者平均：56人/1日

売上平均：41,256円/1日

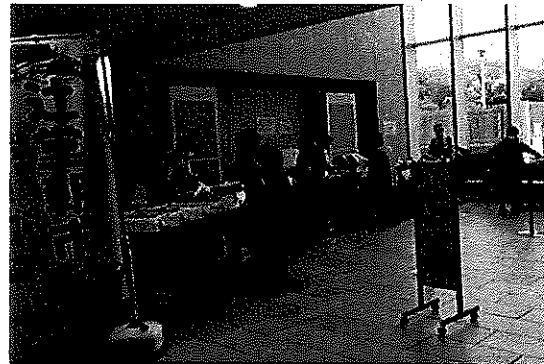
#### 【令和5年度実施内容】

辻堂朝市を22回実施。(原則月2回※)

利用者平均：65人/1日

売上平均：35,113円/1日

※4月13日(木)は選挙投票所開設準備のため  
中止となり、9月28日(木)は敬老会会場  
準備のため中止となった。



↑辻堂市民センターでの辻堂朝市



↑株式会社学研ココファン SSTでの辻堂朝市

## (2) みんなで美化キャンペーン

### 【事業要旨】

地区内の環境美化を進めるとともに、近隣の学生、地域住民が利用する、湘南二コニコロード・ポケットパークの美化を推進することで愛着を育むため、みんなで美化キャンペーンを実施した。今期より近隣の自治会町内会以外の環境衛生部長も活動に加わった。

### ※協力団体等

辻堂地区生活環境協議会、高浜地域子ども支援会議、自治会・町内会、  
湘南工科大学附属高校、高浜中学校、高砂小学校、浜見小学校、白浜養護学校

### 【令和4年度実施内容】

#### (ア) 第1回 (7月12日 (水))

場所：湘南二コニコロード

作業内容：路面清掃、除草、不要な枝の剪定作業

参加者：43人 (内、まちづくり会議4人)

#### (イ) 第2回 (7月16日 (土))

場所：ポケットパーク

作業内容：路面清掃、除草、不要な枝の剪定作業

参加者：37人 (内、まちづくり会議9人)

#### (ウ) 第3回 (12月17日 (土))

場所：ポケットパーク

作業内容：路面清掃、除草、不要な枝の剪定及び花苗の植え付け作業

参加者：35人 (内、まちづくり会議4人)

#### (エ) 第4回 (12月20日 (火))

場所：湘南二コニコロード

作業内容：路面清掃、除草、不要な枝の剪定及び花苗の植え付け作業

参加者：42人 (内、まちづくり会議4人)



↑ポケットパークでの作業

### 【令和5年度実施内容】

#### (ア) 第1回 (7月12日 (水))

場所：湘南二コニコロード

作業内容：路面清掃、除草、不要な枝の剪定作業

参加者：40人 (内、まちづくり会議4人)

#### (イ) 第2回 (7月15日 (土))

場所：ポケットパーク

作業内容：路面清掃、除草、不要な枝の剪定作業

参加者：41人 (内、まちづくり会議7人)



↑湘南二コニコロードでの作業

(ウ) 第3回 (12月13日 (水))

場所：湘南ニコニコロード

作業内容：路面清掃、除草、不要な枝の剪定及び花苗の植え付け作業

参加者：37人 (内、まちづくり会議5人)

(エ) 第4回 (12月17日 (日))

場所：ポケットパーク

作業内容：路面清掃、除草、不要な枝の剪定及び花苗の植え付け作業

参加者：43人 (内、まちづくり会議5人)

### (3) 辻堂ストリートギャラリープロジェクト

#### 【事業要旨】

湘南工科大学と連携し、市民参加型のアート展示を開催した。湘南ニコニコロードをストリートギャラリーとして活用し、展示イベントを通して多くの地域の方にこの道を利用していただくことを目的として、あらかじめ定めたテーマに沿った写真を募集し、フラッグへ印刷して掲出した。

また、今期はイベントの周知を図るため、ポケットパークでの出張展示や、辻堂公民館まつりでのアーカイブ展示を行った。

#### 【令和4年度実施内容】

テーマ：辻堂植物図鑑

紹介文：辻堂の植物…皆さんは何を思い浮かべますか？木でも花でもはたまた雑草でも構いません。公園、家庭菜園、あるいは道端…辻堂の各所で、そこにあった当時の写真でもいいのです。皆さんのお気に入りの1枚を集めて、辻堂植物図鑑を完成させましょう！

展示期間：10月21日 (金) ~11月30日 (水)

掲出本数：20本

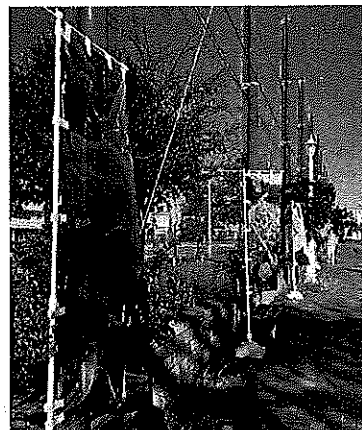
#### 【令和5年度実施内容】

テーマ：書道でアート展

紹介文：「書道」という1つのアートが、別のアート作品に生まれ変わるとどうなるか…想像できますか？今回の企画は、お子様の書道作品を写真に撮ってご応募いただき、湘南工科大学協力のもと、新たな別のフラッグアートを制作して湘南ニコニコロードに掲出します！

展示期間：4月5日 (水) ~5月31日 (水)

掲出本数：40本



↑掲出したフラッグ



↑ポケットパークでの出張展示

テーマ：辻堂の辻

紹介文：皆さんは辻堂の地名にある「辻」という言葉の意味をご存じですか？辻：道路が十字形に交叉している所。四辻。(岩波書店「広辞苑 第7版」より引用) 今回の企画は地名の由来にもなっている「辻」をテーマに写真に撮ってご応募いただき、湘南工科大学協力のもと、フラッグアートを制作して湘南ニコニコロードに掲出します。ぜひご応募ください！

展示期間：10月26日(木)～12月20日(水)

掲出本数：30本

#### (4) 湘南工科大学授業参加協力

##### 【事業要旨】

湘南工科大学1年生の全学科共通の選択講義「共通基礎ワークショップ1A～アーバンデザイン～」に前期・後期それぞれ3回ずつ参加協力し、学生の辻堂への郷土愛を育むとともに、地域と一緒に事業の企画検討を行った。

##### 【令和4, 5年度実施内容】

講義を通して、辻堂ストリートギャラリープロジェクトのフラッグテーマの提案や、ワークショップ等ほかのアイデアを学生に発表してもらい、意見交換を実施した。

		令和4年度の学生発表テーマ	令和5年度の学生発表テーマ
前期	第1回	学生から見た辻堂のまちイメージ	学生から見た辻堂のまちイメージ
	第2回	フラッグテーマ	フラッグテーマ
	第3回	海岸通りを使ったお祭りアイデア	「辻堂百辻」の作品紹介
後期	第1回	学生から見た辻堂のまちイメージ	学生から見た辻堂のまちイメージ
	第2回	フラッグテーマ	フラッグテーマ
	第3回	海岸通りの要素抽出・分析	「恋する辻堂」の学生作品紹介

※同年度でも前期・後期で受講する学生が異なるため、発表テーマが同じでも内容が異なる。

#### (5) 辻堂寫眞館

##### 【事業要旨】

辻堂地区の懐かしい写真、貴重な写真、思い出の品々を展示し、郷土愛を育む場を作ることを目的とし、シリーズ化して実施した。

令和5年度は辻堂公民館事業「TSUJIDO ギャラリー」の地域団体枠として展示を行うことで、同期間中に展示されていた学校の児童作品やサークル作品を見に来た人にも展示を見ていただくことができた。

【令和4年度実施内容】※第1回、第2回は令和3年度に実施

ア 第3回 「新日本紀行 辻堂」 展示期間：4月8日(金)～5月31日(火)

イ 第4回 「明るい農村 辻堂」 展示期間：6月3日(金)～7月31日(日)

- ウ 第5回 「バス通り裏 辻堂」 展示期間：8月19日(金)～10月14日(金)  
エ 第6回 「スポーツ・ショー行進曲 辻堂」 展示期間：11月25日(金)～12月28日(水)  
オ 第7回 「若い季節 辻堂」 写真公募期間：11月10日(木)～12月9日(金)  
展示期間：2月3日(金)～4月13日(木)

※第7回は従来の取材による写真入手に加えて、地域の方から写真募集も行った。

【令和5年度実施内容】

- ア 第8回 「おかあさんといっしょ 辻堂」 展示期間：5月3日(水)～6月30日(金)  
イ 第9回 「魔法のじゅうたん 辻堂」 展示期間：8月1日(火)～9月28日(木)  
ウ 第10回 「歴史への招待 辻堂 その1」 展示期間：12月1日(金)～1月31日(月)  
エ 第11回 「歴史への招待 辻堂 その2」 展示期間：2月2日(金)～3月31日(日)

(6) 辻堂さんぽ

【事業要旨】

令和元年度まで実施してきた「グリーン回廊ウォーキング」は「ふれあい促進」を主たる目的とした活動であったため、新型コロナウイルス感染症の影響で集合型の事業実施のリスクが高くなり、実施困難となってしまった。このため、辻堂さんぽは外出に伴う身体活動の促進による健康の維持・増進を図るとともに、地域の再認識を目的として実施した。

※協力団体等

健康づくり課、高浜地域子ども支援会議、ネットワーク湘南堂夢、辻堂商店会連合会、  
辻堂東・西いきいきサポートセンター、辻堂青少年会館、  
西南部障がい者地域相談支援センターつむぎ

【令和4年度実施内容】

グリーン回廊の案内標識(13カ所)に表示する辻堂にまつわるクイズを解答していく個人参加型のウォークラリーを実施した。クイズの解答をチラシに書いて提出してもらい、景品交換場所で景品と交換した。景品は参加賞のほか、協賛企業(中野養蜂園、お茶・のり コバヤシ、muginami BAKERY、テラスモール湘南)から完歩賞を提供いただいた。

実施日：11月15日(火)～12月15日(木)

景品交換：参加賞762人 完歩賞641人

また、スピンオフ企画として福祉部会と協力してミニさんぽを開催し、事業の周知を図った。

ア 辻堂東・西いきいきサポートセンターとの合同実施「辻堂海浜公園さんぽ」

実施日：11月9日(水)

場 所：辻堂海浜公園～サイクリングロード

参加者：37人

内 容：いきいきサポートセンターが海浜公園で毎週水曜日に実施しているラジオ体操の参加者へ福祉部会が声かけをし、ラジオ体操後に公園内及び海岸線を歩くミニさんぽを実施した。

イ 高砂小学校5年生SDGsウォーク

実施日：11月15日(火)

場 所：高砂小学校～鶴沼サーフビレッジ

参加者：81人

内 容：高浜地域子ども支援会議の働きかけで高砂小学校5年生のPTAとともに企画したウォーキングを実施。高砂小学校から鶴沼サーフビレッジ間にあるグリーン回廊の案内標識を確認しながら鶴沼サーフビレッジまで向かい、海岸でマイクロプラスチックを収集。また、同日実施の津波避難体験にも途中で参加し、サーフビレッジの高台へ避難した。津波避難の視点から津波避難ビルの位置を確認しながら高砂小学校まで戻り、学校内中庭にて収集したマイクロプラスチックでキーホルダー作りを実施し終了した。

ウ 辻堂東・西いきいきサポートセンターとの合同実施「長久保公園さんぽ」

実施日：11月25日(金)

場 所：長久保公園

参加者：27人

内 容：福祉部会が中心となってココファン藤沢SSTの利用者や、普段長久保公園でウォーキングや歌をしているグループに声掛けをし、いきいきサポートセンター実施のラジオ体操及びかわせみ体操を実施後、公園内を1周するミニさんぽを実施した。

エ 木曜クラブ「津波避難訓練さんぽ」

実施日：12月7日(水)

場 所：午前の部 第一木曜クラブ～辻堂市民センター

午後の部 第二木曜クラブ～辻堂市民センター

参加者：午前の部 27人

午後の部 35人

内 容：福祉部会が木曜クラブへ声かけをし、津波避難ビルである辻堂市民センターまでの道をさんぽしながらの津波避難訓練を実施。辻堂市民センターの屋上や防災倉庫、防災井戸を紹介したほか、辻堂地区防災協議会小川会長からもお話をいただいた。

【令和5年度実施内容】

ア 春開催

令和4年度開催で好評だったクイズを継続して実施した。また、協賛企業が新たに4社(STEAK HOUSE sandbar、肉のホドシマ、いちばら治療院、神原米店) 増え、景品内容が充実した。

実施日：4月20日(木)～5月22日(月)

景品交換：参加賞972人 完歩賞829人

イ 秋開催

春開催からさらに協賛企業が2社(製菓シャトー、and K) 増え、景品内容がより充実したほか、福祉部会と協力してミニさんぽを実施した。

実施日：11月20日(月)～12月20日(水)

景品交換：参加賞 830人 完歩賞 629人

(ア) 障がいの理解 さんぽ

実施日：11月20日(月)

場 所：辻堂市民センター

参加者：29人

内 容：障がいのある方の理解及び災害時のニーズ把握を目的として、障がいのある方とそ  
のご家族を対象に、福祉避難所である辻堂市民センターの施設見学を行った。また、  
辻堂地区防災協議会と協力し、防災備蓄品の展示・説明を実施した。

(イ) 高砂小学校5年生湘南 SDGs ウォーク

実施日：11月25日(土)

場 所：高砂小学校～鵜沼サーフビレッジ

参加者：94人

内 容：高砂小学校5年生のPTAとともに企画したウォーキングを実施。高砂小学校から  
鵜沼サーフビレッジ間にあるグリーン回廊の案内標識を確認しながら鵜沼サーフビ  
レッジまで向かい、海岸でマイクロプラスチックを収集した。また、鵜沼サーフビ  
レッジにある津波避難のための高台の周知や、もったいないJapanからおやつを提  
供いただきつつの活動紹介も行った。帰りには二エアル記念碑を用いて歴史紹介を  
行った。学校に戻った後は体育館にて収集したマイクロプラスチックでハーバリウ  
ムボールペンを作成し終了した。

(ウ) 辻堂東・西いきいきサポートセンターとの合同実施「長久保公園さんぽ」

実施日：12月11日(月)

場 所：長久保公園～引地川遊歩道

参加者：27人

内 容：福祉部会が中心となってココファン藤沢SSTの利用者や、普段長久保公園でウォ  
ーキングや歌をしているグループに声掛けをし、いきいきサポートセンター実施の  
ラジオ体操及びかわせみ体操を実施後、長久保公園と引地川遊歩道を巡るコースを  
ウォーキングした。

(エ) 辻堂東・西いきいきサポートセンターとの合同実施「辻堂海浜公園さんぽ」

実施日：12月13日(水)

場 所：辻堂海浜公園～サイクリングロード

参加者：37人

内 容：いきいきサポートセンターが海浜公園で毎週水曜日に実施しているラジオ体操の参  
加者へ福祉部会が声掛けをし、ラジオ体操後に公園内及び海岸線を歩くミニさんぽ  
を実施した。



↑ 高砂小学校5年生湘南SDGsウォーク



↑ 辻堂海浜公園さんぽ

## (7) 辻堂の海を守ろう

### 【事業要旨】

子どもたちが楽しみながらSDGsの視点や、海洋プラスチック問題を学べる機会をつくり、辻堂の未来を担う子どもたちの郷土愛を育むための事業を実施した。

### ※協力団体等

辻堂地区生活環境協議会、高浜地域子ども支援会議、ネットワーク湘南堂夢、  
マーボロイナル、湘南菱油株式会社、まちづくりFCC

### 【令和4年度実施内容】

子どもたちに向けた事業を企画するにあたり、まちづくり会議委員がマイクロプラスチック問題への理解を深めるための講演会を実施した。

講師 神奈川県環境科学センター 坂本 広美 氏

テーマ 相模湾に漂着するマイクロプラスチック

実施日 12月13日(火)

実施場所 辻堂市民センター3F ホール

参加者： 32人

### 【令和5年度実施内容】

#### ア SUPでSDGs体験

実施日：6月10日(土) ※6月3日(土)から雨で延期

場 所：辻堂海浜公園 サザン池

参加者：31人

内 容：マリンスポーツを楽しみながらゴミ拾いをする活動に触れてもらえるよう、辻堂海浜公園のサザン池にて、SUP(Stand Up Paddle)をしながら海に漂うゴミに模したペットボトルを拾い、分別して捨てるまでの体験事業を行った。また、SDGs目標の1つ「海の豊かさを守ろう」やマイクロプラスチック問題への理解を深めるための紙芝居も披露した。

## イ 映画上映会

実施日：オンライン開催 11月16日(月)～12日(日) ※期間中随時視聴

辻堂市民センター開催 11月12日(日)

高砂小学校開催 11月20日(月)

浜見小学校開催 12月5日(月)

場 所：オンライン開催 申請者ごとに異なる

辻堂市民センター開催 辻堂市民センター3F ホール

高砂小学校開催 高砂小学校 アリーナ

浜見小学校開催 浜見小学校 体育館

参加者：オンライン開催 28人

辻堂市民センター開催 43人

高砂小学校開催 325人

浜見小学校開催 61人

内 容：子どもから大人まで楽しくプラスチック汚染問題を学べるよう、ニューヨーク、ブルックリンの小学5年生たちが、彼らの視点でプラスチック汚染問題解決に取り組んだ2年間を追うドキュメンタリー映画「マイクロプラスチックストーリー～ぼくらが作る2050年～」を上映した。また、SUPでSDGs体験と同様に紙芝居を披露したほか、海外での活動ではなく辻堂での活動を紹介するため、湘南菱油株式会社にビーチクリーン活動の紹介をしていただいた。

## ウ SDGs キーホルダーとカラピナに誓いを込めて

実施日：12月10日(日)

場 所：辻堂市民センター3Fホール、辻堂海岸

参加者：51人

内 容：紙芝居を披露しSDGs目標の1つ「海の豊かさを守ろう」やマイクロプラスチック問題への理解を深めたあと、辻堂海岸に実際にどれほどのマイクロプラスチックが存在しているのか肌身で感じてもらうため、湘南菱油株式会社と合同でビーチクリーンを実施して通常のゴミとともにマイクロプラスチックを収集した。そして、アップサイクルの考え方を学んでもらうため、ゴミとして集めたマイクロプラスチックを使ってキーホルダーを制作したり、収集したペットボトルキャップでカラピナを制作した。また、寄せ書きで参加した子どもたちの感想や意思を1つの作品に仕上げた。



SUPでSDGs体験

左：紙芝居の披露

右：SUP体験



↑ 映画上映会 (高砂小学校開催)



SDGs キーホルダーとカラビナに誓いを込めて

左上：SDGs キーホルダー作り

右上：カラビナ作り

左下：寄せ書き (お楽しみブース)

以上

令和4年度～令和5年度

辻堂まちづくり会議

(福祉部会)

活動実績

令和4,5年度 辻堂まちづくり会議 福祉部会 委員名簿

No.	区分	氏名(敬称略)	団体名又は公募
1	団体推薦委員	近藤 真由美	辻堂東地区民生委員児童委員協議会
2	団体推薦委員	伊藤 和子	辻堂公民館評議員会
3	団体推薦委員	大橋 洲二	浜見地区社会体育振興協議会
4	団体推薦委員	松尾 良子	ネットワーク湘南堂夢
5	団体推薦委員	富田 直樹	辻堂東地区いきいきサポートセンター (令和5年7月まで)
		黒川 康弘	辻堂東地区いきいきサポートセンター (令和5年8月から)
6	団体推薦委員	高野 拓弥	辻堂西地区いきいきサポートセンター
7	団体推薦委員	北野 範之	辻堂地区ボランティアセンター(令和4年度)
		村上 純子	辻堂地区ボランティアセンター(令和5年度)
8	団体推薦委員	山下 美波	西南部障がい者地域相談支援センター
9	公募委員	池本 茂男	公募委員

## 1 会議開催

令和4年度			令和5年度		
第1回	5月19日	(木)	第1回	4月20日	(木)
第2回	6月16日	(木)	第2回	5月18日	(木)
第3回	7月14日	(木)	第3回	6月15日	(木)
第4回	8月18日	(木)	第4回	7月13日	(木)
第5回	9月15日	(木)	第5回	8月17日	(木)
第6回	10月13日	(木)	第6回	9月14日	(木)
第7回	11月17日	(木)	第7回	10月12日	(木)
第8回	12月8日	(木)	第8回	11月9日	(木)
第9回	1月19日	(木)	第9回	12月14日	(木)
第10回	2月9日	(木)	第10回	1月18日	(木)
第11回	3月16日	(木)	第11回	2月15日	(木)
			第12回	3月21日	(木)

## 2 事業報告

### (1) 障がいの理解～防災を通して考える～

#### 【事業要旨】

辻堂地区における障がいのある方の防災・避難行動時の配慮について、当事者のニーズを知り、災害時の具体的配慮や支援について学んだ。また、取り組みを通して障がいのある方の理解や啓発を行った。

#### 【令和4年度実施内容】

1月16日(月)に障がいのある方の理解及び災害時のニーズ把握を目的として、障がいのある方の団体である自閉症児・者親の会を対象に、福祉避難所である辻堂市民センターの見学や意見交換会を実施した。



↑防災備蓄品の展示の様子

#### 【令和5年度実施内容】

11月20日(月)に障がいのある方の理解及び災害時のニーズ把握を目的として、障がいのある方とご家族を対象に、福祉避難所である辻堂市民センターの見学や防災備蓄品の展示を実施した。

### (2) 白浜養護学校作品展示・即売会

#### 【事業要旨】

生徒が授業で創作した作品を展示する機会の提供、また作品を通して障がいのある方の理解につながることも想定されることから、白浜養護学校高等部の作品即売会と、中学部の作品展示を実施した。

#### 【令和4年度実施内容】

辻堂市民センター交流スペースにて、作品の展示を12月10日～23日に、即売会を12月13日・14日に行った。

#### 【令和5年度実施内容】

辻堂市民センター交流スペースにて、作品の展示を7月3日～8月31日、2月27日～3月22日に、即売会を7月6日・7日に行った。

### (3) さんわーくかくや「かくやびより」上映会

#### 【事業要旨】

辻堂地区における障がいの理解を広めるため、「さんわーくかくや」の活動にスポットを当てた映画「かくやびより」の上映会を実施した。「さんわーくかくや」の障がいのある方が地域の中で自分らしく「生きる」「生活する」「活動する」「お互いを知ること」に対する取組や姿勢を通じて、障がいについての理解が地域で広がるきっかけになることを目的とした。

#### 【令和5年度実施内容】 ※令和5年度のみ実施

8月10日(木)に障がい理解を目的とし、善行にある日中一時支援の福祉施設である「さんわーくかくや」の日常を映画にした「かくやびより」の上映会及び津村和比古監督等によるトーク会を実施した。

### (4) 絵ほん語り公演

#### 【事業要旨】

語りを通して絵本の世界を楽しんでいただくとともに、辻堂地区でLGBTQへの理解が促進されることを目的として公演会を実施した。

#### 【令和5年度実施内容】 ※令和5年度のみ実施

7月29日(土)にLGBTQへの理解促進を目的とした「ふたりママの家で」と、「絵のない絵本」の2作品を題材として語りを通して絵本の世界を届ける公演会を開催した。



↑絵ほん語り公演終了後に記念撮影

#### (5) 認知症フレンドリーキッズ授業

##### 【事業要旨】

認知症の人が住み慣れたまちで安心して暮らし続けられる「共生社会」の構築を願い、未来を担う子どもたちに地域の協力者になってもらうことを目指し事業を実施した。



↑認知症VR体験の様子

##### 【令和5年度実施内容】※令和5年度のみ実施

辻堂地区内の子どもたちに対し、認知症の正しい理解を学ぶことを目的とし、小学3年生から6年生を対象とした認知症の講座を開催した。

#### (6) 世代間交流事業

##### 【事業要旨】

辻堂青少年会館・辻堂地区社会福祉協議会共催の、地域の子どもたちが「支えあいのまちづくり」を考えるきっかけとなる、SDGsの体験を中心とした全4回の学習活動に協力した。

##### 【令和4年度実施内容】

- 第1回：高齢者疑似体験、車イス体験
- 第2回：藤沢市地域の縁側【すこやか】訪問
- 第3回：障がい者スポーツ交流
- 第4回：認知症サポーター養成講座

##### 【令和5年度実施内容】

- 第1回：認知症サポーター養成講座
- 第2回：車イス体験「まちに出かけよう」
- 第3回：盲導犬の役割を理解する
- 第4回：高齢者疑似体験

#### (7) 辻堂ミニさんぽ

##### 【事業要旨】

外出に伴う身体活動の促進による健康の維持・増進を図るとともに、地域の再認識、ふれあいの機会の創出を目的とした交流部会の「辻堂さんぽ」事業のスピノフ企画として、長久保公園と辻堂海浜公園で「辻堂ミニさんぽ」を実施した。

【令和4年度実施内容】

11月9日(水)に辻堂海浜公園にて、いきいきサポートセンター主催の体操参加者と一緒  
に実施した。また、11月25日(金)に長久保公園にて、長久保公園内の散歩団体・コーラス  
団体及び学研ココファン藤沢SST施設利用者と一緒を実施した。

【令和5年度実施内容】

12月11日(月)に長久保公園で、12月13日(水)に辻堂海浜公園で、はじめに軽く体操  
をしてから公園内等を30分程度さんぽした。

(8) 救急救命講習&AEDマップアプリ講習会

【事業要旨】

辻堂地区内で、AEDがより普及し、活用されることを目的として、救急救命講習とAEDマ  
ップアプリ講習会を開催した。

【令和4年度実施内容】※令和4年度のみ実施

3月3日(金)に辻堂まちづくり会議委員に向け、救急救命課による救急救命講習と、湘南工  
科大学の学生によるAEDマップアプリ講習会を開催した。

(9) ヤングケアラーについて考える【研修会】

【事業要旨】

地域の様々な方が集い、ヤングケアラーについて知り、共に考える研修会を開催した。

【令和5年度実施内容】※令和5年度のみ実施

3月3日(日)にヤングケアラーについての講演をケアラー支援専門員及び当事者の方にして  
いただき、その後グループに分かれて、参加者同士で講演を聞いての感想を自由に語り合い、振  
り返りを行った。

以上

令和4年度～令和5年度

辻堂まちづくり会議

(広報委員会)

活動実績

令和4,5年度 辻堂まちづくり会議 広報委員会 委員名簿

No.	区分	氏名(敬称略)	団体名又は公募
1	団体推薦委員	小川 雄二郎	辻堂地区防災協議会
2	団体推薦委員	伊藤 和子	辻堂公民館評議員会
3	公募委員	尾崎 文彦	公募委員
4	公募委員	秋山 正行	公募委員
5	公募委員	久保田 恵	公募委員

## 1 会議開催

令和4年度			令和5年度		
第1回	5月12日	(木)	第1回	4月20日	(木)
第2回	6月16日	(木)	第2回	5月18日	(木)
第3回	7月14日	(木)	第3回	6月15日	(木)
第4回	8月18日	(木)	第4回	7月13日	(木)
臨時	9月7日	(水)	第5回	8月17日	(木)
第5回	9月15日	(木)	第6回	9月14日	(木)
第6回	10月12日	(水)	第7回	10月12日	(木)
第7回	11月11日	(金)	第8回	11月9日	(木)
第8回	12月8日	(木)	第9回	12月14日	(木)
第9回	1月19日	(木)	第10回	1月18日	(木)
第10回	2月9日	(木)	第11回	2月14日	(木)
第11回	3月9日	(木)	第12回	3月21日	(木)

## 2 活動報告

### (1) 地区全体集会

#### 【事業要旨】

辻堂地区郷土づくり推進会議運営要領第3条に基づき、市民、地域団体等の意見を集約するため開催した。参加者とのディスカッションのほか、辻堂まちづくり会議の活動報告も実施した。

#### 【令和4年度実施内容】

辻堂地区郷土づくり推進会議の活動報告とこれから、湘南工科大学社会貢献活動の取組を第1部で発表した。第2部では、シン辻堂カルタ作りを参加者とともに実施した。

ア 実施日 2月12日(日) 14:00~16:00 【2時間】

※開催案内の事前周知ピラを広報ふじさわ12月25日号と一緒に全戸配布した。

イ 実施場所 ハイブリッド開催（Zoom ウェビナー利用）

ウ 参加者 54人（内、まちづくり委員等関係者28人）

#### エ 内容

(ア) 開会あいさつ

(イ) 辻堂まちづくり会議の取組とこれから

(ウ) 湘南工科大学 社会貢献活動報告

(エ) シン辻堂カルタ作り

(オ) 閉会あいさつ

(カ) 全体集会アンケート

【令和5年度実施内容】

辻堂地区郷土づくり推進会議の活動報告と、湘南工科大学社会貢献活動の取組を第1部で発表した。第2部では、「辻堂の道」について、詳細テーマ毎にグループで話し合いを行った。

ア 実施日 2月4日(日) 13:30~15:30 【2時間】

※開催案内の事前周知ビラを広報ふじさわ12月25日号と一緒に全戸配布した。

イ 実施場所 辻堂市民センターホール

ウ 参加者 64人(内、まちづくり委員等関係者33人)

エ 内容

(ア) 開会あいさつ

(イ) 辻堂まちづくり会議の取組

(ウ) 湘南工科大学 社会貢献活動の取組

(エ) 「辻堂の道」について、グループで話し合いと発表

(オ) 閉会あいさつ

(カ) 全体集会アンケート

(2) オンラインcafeの開催

【事業要旨】

高砂小学校4~6年生を対象に内閣府によるムーンショット型研究開発制度についてオンライン講演を実施した。

高砂小学校6年生(2クラス)	73人
高砂小学校5年生(3クラス)	91人
高砂小学校4年生(3クラス)	103人
高砂小学校教職員	10人
教育委員会職員	2人
まちづくり会議委員	9人
事務局	5人
内閣府(講師)	1人
内閣府関係傍聴者	1人
計	295人

### (3) 辻堂まちづくり会議だよりの発行

#### 【事業要旨】

辻堂まちづくり会議の活動を広く周知するため、広報誌「辻堂まちづくり会議だより」を作成し、全戸配布した。

#### 【令和4年度実施内容】

辻堂まちづくり会議からの提案で実現した、「湘南辻堂地下道の交差点（3車線化）」について、1面を取り上げて実績報告を行った。

また、令和4年度に実施した事業について、写真付きの事業紹介をなるべく多く掲載した。

16,000部作成し、広報ふじさわ3月25日号と一緒に地区内全戸配付した。

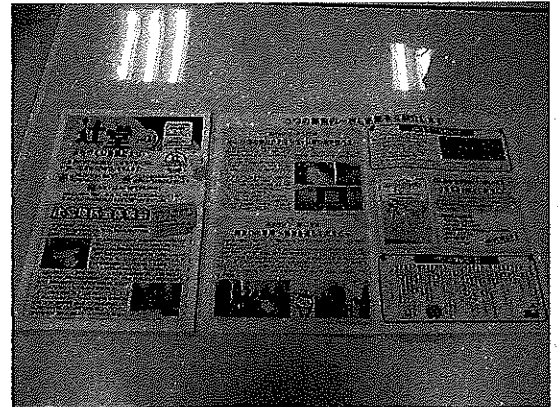


↑令和4年度辻堂まちづくり会議だより

#### 【令和5年度実施内容】

1面では全体集会の結果を取り上げ、それ以外のスペースは、各部会からの一押し事業の紹介を行った。

16,000部作成し、広報ふじさわ3月25日号と一緒に地区内全戸配付した。

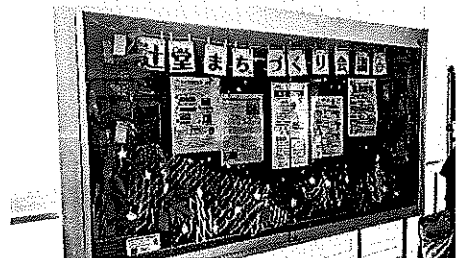


↑令和5年度辻堂まちづくり会議だより

### (4) 辻堂まちづくり会議駅前掲示板の活用

#### 【事業要旨】

辻堂駅コンコース前に設置した掲示板を活用し、辻堂まちづくり会議の活動を広く周知した。辻堂まちづくり会議が開催するイベント等のチラシのほか、希望した他団体の掲示も実施した。



↑駅前掲示板

#### 【令和4、5年度実施内容】

各月飾りつけや事業報告、募集チラシの掲示を行った。掲示板の飾り付けは1月～12月まで全ての月で、季節を感じさせる装飾品を作り上げた。各部会の輪番制に変更することで、全てのまちづくり会議委員の広報活動の取組とした。

(6) Facebook ページへの記事投稿

【事業要旨】

辻堂まちづくり会議の活動をより多くの方々へ周知するため、SNS (Facebook) で事業の予告や実施結果の投稿を行った。

【令和4年度実施内容】

辻堂まちづくり会議委員による記事投稿を続けることで、少しずつフォロワー数を増やした。



↑ Facebook アカウントトップページ

【令和5年度実施内容】

辻堂まちづくり会議で受け入れた、湘南工科大学の社会貢献活動実習生2名による広報支援があり、その実習生たちによって28件の記事が作成・投稿された。

(7) 湘南工科大学社会貢献活動 (辻堂発見! リポーター) 実習生の受け入れ

【事業要旨】

湘南工科大学社会貢献活動 (辻堂発見! リポーター) 実習生は、湘南工科大学周辺で行われている地域のイベントや地域団体の活動等について、SNSを活用した情報発信を支援することで、地域団体のICT化を支援することを目的としている。広報委員会で受け入れることにより、辻堂まちづくり会議の活動を広く周知した。

【令和5年度実施報告】※令和4年度は実績なし。

受け入れ人数：2名

実習参加日数：それぞれ65時間程度

活動内容：辻堂朝市や全体集会等、まちづくり会議や各地域団体の事業へ参加し、当日の様子をFacebookで発信した。

(8) 辻堂プライドロゴマークの決定・周知

【事業要旨】

令和2年度に定めた「辻堂プライド」のロゴマークの浸透のため、広報活動を実施した。



↑ 辻堂プライドロゴマーク

【令和4・5年度実施内容】

さらなる周知のため、缶バッチ、シール、ポケットティッシュ等のグッズを作成し、イベントの景品として配布するなどした。

以上

